

顔認証アクセスコントロールターミナル

UFT-2040F4

ユーザマニュアル



©2022 TB-eye Ltd.

バージョン : V1.01

弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご質問・ご要望については、ご遠慮なく販売店までご連絡ください。

免責事項と安全警告

株式会社ティービーアイは取扱説明書の完全性および正確性については万全を期しておりますが、その内容については公式に保証するものではありません。この取扱説明書の使用およびサイバー攻撃、ハッカー攻撃、またはウイルス攻撃による情報漏えいなどを含むその結果については、すべてユーザーが責任を負うこととなります。本仕様は製品の性能向上のために事前予告なしで変更されることがあります。

※設計および仕様は予告なく変更する場合があります。

著作権について

このマニュアルのいかなる部分も、当社の書面による事前の承諾なしに、いかなる方法およびいかなる形式でも、複写、複製、翻訳、または配布することはできません。このマニュアルに記載されている製品には、当社またはそのライセンサーが所有する独自のソフトウェアが含まれている場合があります。許可のない限り、いかなる方法でも、ソフトウェアを複製、配布、変更、抽象化、逆コンパイル、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリング、レンタル、転送、またはサブライセンスを行うことはできません。

輸出について

本製品の日本国外への輸出、あるいは日本国外での使用は、お客様の判断と責任の下で行われるものとし、当社は一切の責任を負いません。お客様の判断で本製品を輸出される場合は、外国為替及び外国貿易法（輸出管理貿易令）に基いて、経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰則の対象となります。関連法令をよく理解し、遵守していただきますようお願い申し上げます。

プライバシーについて

本製品に記録される映像には個人情報に該当する映像が記録される可能性が有ります。お客様は、個人情報保護法に基く適切な記録映像の取り扱いが必要となります。

本書について

- 本書掲載の写真、図、説明文等は、実際の製品の外観、機能や性能に対して過不足する場合があります。製品搭載の機能・性能が本書に優先します。
- 本書には複数のソフトウェアについて説明されており、掲載の図や説明文は、実際の GUI やソフトウェアの機能と異なる可能性があります。
- 内容の正確性を期するよう努力しておりますが、技術的な誤りや誤植が存在することがあります。当社はそのような誤りについて責任を負うことはできず、事前の通知なしにマニュアルを変更する権利を留保します。
- 不適切な操作によって生じる破損や損害は、すべて使用者の責任となります。
- 当社は、本書の内容を通知や予告なく変更することがあります。製品バージョンのアップグレードや、法令の遵守などの理由で、本書は不定期に更新されます。

責任の制限

- 適用法で認められる範囲で、当社はいかなる場合においても、特別、付随的、間接的、結果的損害、あるいは利益、データ、文書の損失について責任を負わないものとします。
- 本書に記載の製品は「現状あり姿のまま」の状態を提供されます。該当法で要求されている場合を除き、本書は情報提供の目的のみで提供され、当社では、本書の記述内容、情報、推奨事項について、明示あるいは黙示を問わず一切保証いたしません（商品性、品質に関する満足度、特定目的に対する適合性、権利非侵害などを含むがそれだけに限定されない）。
- 本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。
- 本製品をインターネットに接続することによって生ずるリスク（ネットワークの攻撃やハッキングやウイルスを含むがそれだけに限定されない）は、すべて使用者が責任を負うものとします。ネットワーク、デバイス、データ、個人情報の保護を強化するために必要なすべての措置を講じることを強くお勧めします。当社はこれらに関連するいかなる責任も放棄しますが、必要なセキュリティ関連のサポートを提供しています。
- 適用法で禁止されていない限り、当社およびその従業員、ライセンサー、子会社、関連会社は、製品またはサービスの使用または使用不能によって発生した結果(利益の損失およびその他の商業的損害または損失、データの損失、代替品またはサービスの調達、物的損害、人身被害、事業の中断、ビジネス情報の損失、または特別、直接的、間接的、偶発的、結果的、金銭的、補償、懲罰的、付随的な損失を含むがそれに限定されない)について、また、その結果が発生した経緯、あるいはそれが製品の使用に関連した契約、厳格責任または不法行為であるかに関わらず、また責任理論上または当社がそのような損害(人身被害、偶発的または付随的な場合に適用法により要求される場合を除く)の可能性について通知を受けていたとしても、一切責任を持ちません。

ネットワークセキュリティ

デバイスのネットワークセキュリティを強化する上で必要な手段をすべて講じてください。以下は、デバイスのネットワークセキュリティを強化する上で必要な手段です。

- **デフォルトパスワードの変更および強力なパスワードの設定**：初回ログイン後にデフォルトパスワードを変更するよう強くお勧めします。数字、文字、特殊文字の3種類をすべて含む9文字以上から成る強力なパスワードを設定してください。
- **ファームウェアを最新の状態に維持する**：セキュリティを向上するため、デバイス内のファームウェアを常に最新の状態に維持するよう推奨します。最新のファームウェアについては、当社にお問い合わせください。

以下、デバイスのネットワークセキュリティを強化する上での推奨事項です。

- **パスワードを定期的に変更する**：パスワードを定期的に変更し、パスワードを安全に保管してください。関係者以外の人物がログインできないようにしてください。
- **HTTPS/SSL を有効にする**：SSL 証明書を使用して HTTP 通信を暗号化し、データのセキュリティを確保してください。
- **IP アドレスフィルタリングを有効にする**：指定 IP アドレスからのアクセスのみを許可します。
- **ポートマッピングを最小にする**：WAN に対して開かれるポート数が最小になるようルーターまたはファイアウォールを設定し、必要なポートマッピングのみを保持します。デバイスを DMZ ホストに設定したり、フルコーン NAT を設定しないでください。
- **自動ログイン機能とパスワード保存機能を無効にする**：2人以上のユーザーがアクセスするコンピュータの場合、不正使用を防止するためこうした機能を無効にするよう推奨されます。

- **専用のユーザー名とパスワードを選ぶ**：ソーシャルメディア、銀行、メールアカウントの情報が漏れた場合に備えて、デバイスのユーザー名やパスワードとして、ソーシャルメディア、銀行、メールアカウントなどと同じユーザー名やパスワードを使用しないでください。
- **ユーザー権限を制限する**：2人以上のユーザーが同じアカウントにアクセスする必要がある場合、必要な権限のみを許可してください。
- **UPnP を無効にする**：UPnP を有効にした場合、ルーターは自動的に内部ポートをマッピングし、システムは自動的にポートデータを転送するので、データが漏洩する恐れがあります。したがって、お使いのルーターで HTTP と TCP ポートマッピングが手動で有効化されている場合、UPnP を無効にするよう推奨されます。
- **SNMP**：SNMP を使用しない場合は無効にしてください。SNMP を使用する場合は SNMPv3 が推奨されます。
- **マルチキャスト**：マルチキャストは、複数のデバイスにビデオを転送する目的で使用されます。この機能を使用しない場合、ネットワークでマルチキャストを無効にするよう推奨されます。
- **ログの確認**：不正なアクセスや異常な操作が行われていないか、デバイスログを定期的に確認してください。
- **物理的保護**：物理的な不正アクセスを防止するため、鍵のかかる部屋かキャビネット
- ト内にデバイスを保管してください。
- **ビデオ監視ネットワークの分離**：ビデオ監視ネットワークと他のサービスネットワークと分離すると、他のサービスネットワークからセキュリティシステムのデバイスへの不正アクセスが防止しやすくなります。



ヒント！

デフォルトパスワードは最初のログインに使用されます。アカウントのセキュリティを確保するため、最初のログイン後に、パスワードを変更してください。強力なパスワード（8文字以上）を設定するよう推奨します。

安全に関する警告

本機は、必要な安全上の知識や技能を有し訓練を受けた専門の技術者による据付、整備、保守を行ってください。本機の使用を開始するにあたり、本書を熟読し、危険や物的損失を防止するため、適用条件がすべて満足されていることを確認してください。

保管、輸送、使用

- 本機は、指定の環境条件（温度、湿度、粉塵、腐食性ガス、電磁輻射を含むがそれだけに限定されない）を満たす適切な環境で保管または使用してください。
- 落下しないように、適切に固定し配置してください。
- 特に指示がない限り、デバイスを積み重ねないでください。
- 動作環境の換気が良好であることを確認してください。本機の換気口を塞がないでください。換気をよくするため、十分広い空間を空けてください。
- 本機に液体がかからないように保護してください。
- 本機の電源要件を満たし電圧が安定した電源を供給してください。電源の出力電力が、接続されている全機器の最大電力の合計よりも大きいことを確認してください。
- 電源を接続する前に、本機が適切な状態に取り付けられていることを確認してください。

- 当社に無断でデバイス本体からシールをはがさないでください。ご自分で本機を修理しようとししないでください。保守は訓練を受けた専門の技術者にお任せください。
- 本機を移動する前に、必ず電源を切ってください。
- 屋外で本機を使用する前に、適切な防水処理を行ってください。




電源要件

- 本機の据付や使用の際には、お住まいの地域の電気安全規則を厳守してください。
- 電源アダプターを使用する場合は、当社指定（PSE 技術基準適合）の電源を使用してください。
- 指定の定格を満たす推奨コードセット（電源コード）を使用してください。
- 保護アース電極のある電源コンセントを使用してください。
- 本機を接地する場合は、適切な方法で接地してください。

- 本マニュアルで使用されている表記規則は次のとおりです。

フォーマット	説明
太字	ボタン、メニュー、タブ、ウィンドウ名、ダイアログ名、パラメータ名を示します。たとえば、OKをクリックするか、 Device Management を選択します。
「」	メッセージを示します。たとえば、「通話終了」はインターフェースに表示されます。
>	マルチレベルメニューへの移動を示します。たとえば、 Device Management > Add Device に移動します。この例では、 Add Device は Device Management のサブメニューです。

- 本書には下表の記号が使用されています。危険な状況を回避するため、各記号の指示に従い、製品を正しく使用してください。

記号	説明
 警告!	重度のけが、死亡する危険性がある内容です。
 注意!	装置を損傷したり軽度のけがを負ったりする危険性がある内容です。
 ヒント!	製品の使用に関する役に立つ情報や追加情報を意味します。

目次

1 本取扱説明書の適用範囲	1
2 製品概要	1
3 製品の外観	1
4 製品の取り付け	2
5 本機での操作	2
5.1 初期インターフェース	2
5.2 メインインターフェース	3
5.3 広告モード	5
5.4 マスク/温度測定インターフェース	5
5.5 アクティベーションの設定	11
5.5.1 基本情報	12
5.5.2 デバイスの場所	12
5.5.3 ネットワークの設定	12
5.5.4 アクティベーションパスワード	13
5.5.5 管理者パスワード	14
5.5.6 ユーザ管理	15
5.5.7 認証シーン	18
5.5.8 デバイスマンテナンス	19
6 従業員情報の管理	20
6.1 従業員情報入力	20
6.2 従業員情報の削除	20
7 ウェブ操作	21
7.1 ログイン	21
7.1.1 準備	21
7.1.2 ウェブインターフェースへのログイン	21
7.2 写真	22
7.2.1 写真リストの並べ替え	23
7.2.2 容量の合計/空き容量	23
7.2.3 写真命名規則	23
7.2.4 写真ライブラリの更新	24
7.2.5 録画のエクスポート	24
7.2.6 写真のエクスポート	24
7.2.7 写真の削除	24

7.2.8 写真のエクスポートと削除	25
7.3 パラメータの構成	25
7.3.1 一般	25
7.3.2 ネットワーク	42
7.3.3 画像	43
7.3.4 インテリジェント	53
7.3.5 イベント	68
7.3.6 ストレージ	73
7.3.7 セキュリティ	75
7.3.8 システム	78
8 よくある質問	81

1 本取扱説明書の適用範囲

表 1-1 本マニュアルの適用範囲

モデル	名前
UFT-2040F4	顔認証アクセスコントロールターミナル

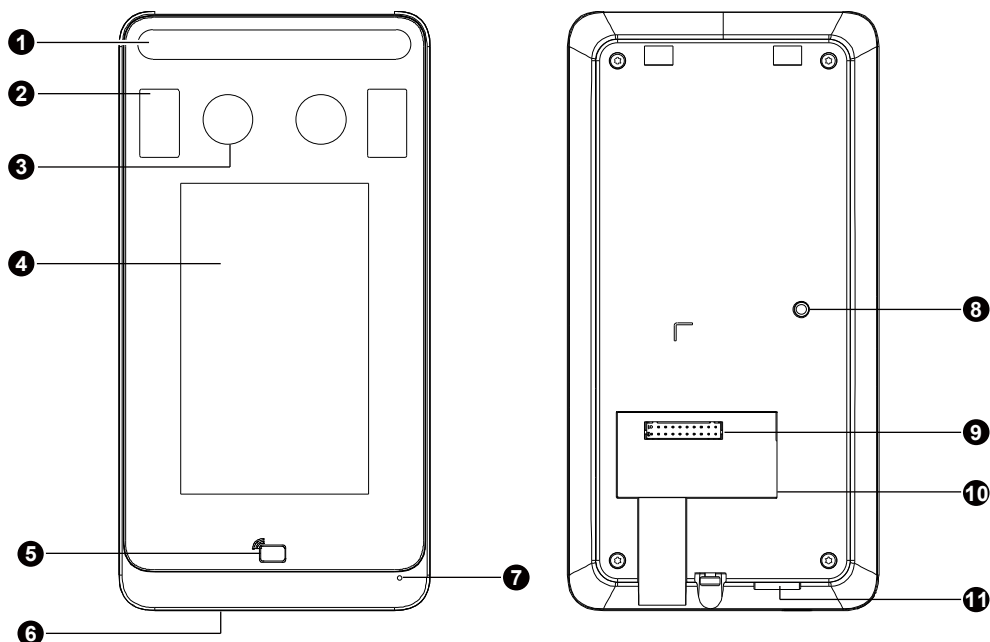
2 製品概要

顔認証アクセスコントロールターミナル（本機）は、高性能かつ高信頼です。当社の顔認証テクノロジーを実装し、顔スキャンベースの検証と開扉機能を実現して、従業員のアクセスを制御します。本製品は高認識率、大容量ストレージ、高速認識といった特徴を有しています。スマートコミュニティのビルシステム、公安、教育施設などにも広く応用できます。

3 製品の外観

下図は本機の外観を示しています。（実際の外観は本書と異なる場合があります。）

図 3-1 UFT-2040F4



1. 補助ランプ	2. 赤外線照明器
3. カメラ	4. 表示画面
5. カード読み取りエリア	6. 再起動ボタン
7. マイク	8. いたずら防止ボタン
9. 20ピンインターフェイス	10. ネットワークインターフェイス
11. スピーカー	

4 製品の取り付け

本機の配線および取り付け方法については、顔認証アクセスコントロールターミナルのクイックガイドを参照してください。

5 本機での操作

5.1 初期インターフェース

本機を初めて使用する場合、または工場出荷時の状態に戻す場合、ユーザーはアクティベーションパスワードを設定する必要があります。アクティベーションパスワードは、[アクティベーションの設定](#) インターフェースへのログインに使用されます。

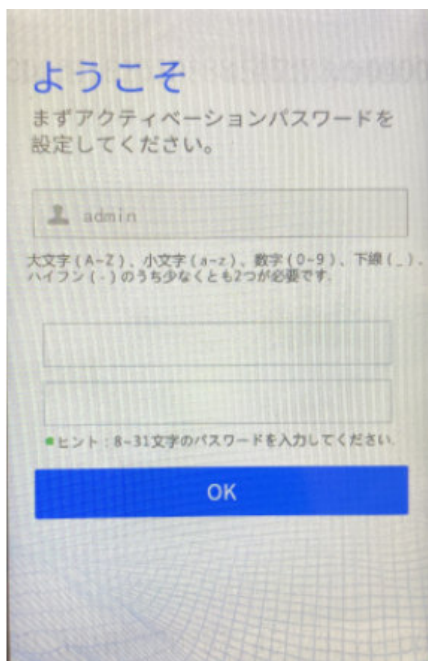


ヒント！

- パスワードには、少なくとも 8 文字を含める必要があります（大文字、小文字、数字、アンダーバー、ハイフンのうち、少なくとも 2 種類を含む）。
- アクティベーションパスワードは、**admin** がウェブインターフェースにログインするためのパスワードと一致しています。アクティベーションパスワードを変更した場合、新しいパスワードを使用してウェブ[インターフェースへログイン](#)します。

アクティベーションパスワードを設定した後、[図 5-2](#) が表示されます。アクティベーションパスワードを後で変更する必要がある場合、[アクティベーションパスワード](#)を参照してパスワードを変更してください。

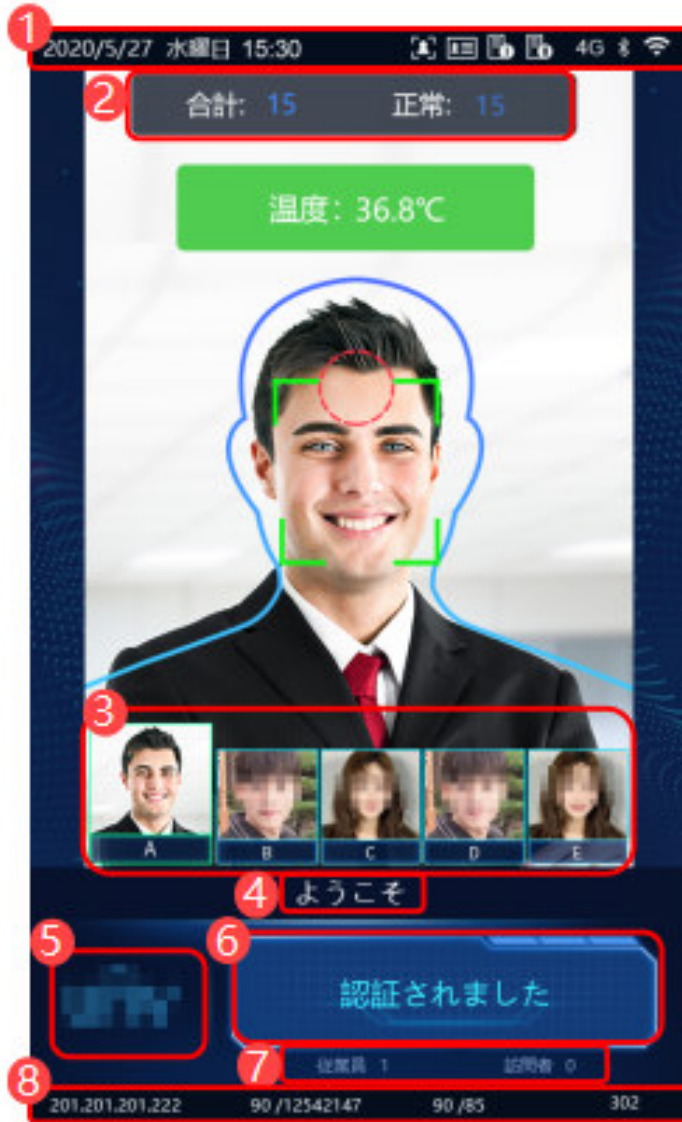
図 5-1 アクティベーションパスワードを設定するインターフェース






5.2 メインインターフェース

本機に表示されるメインインターフェースは、デバイスの種類によって異なります。
[デバイス情報](#)を参照してください。

図 5-2 メインインターフェース



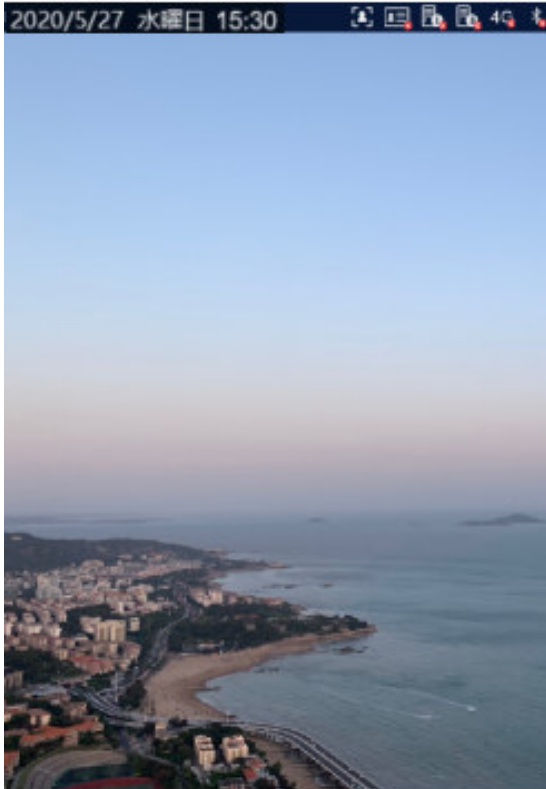
番号	説明
1	<p>さまざまなサービスの現在の日付、時刻、および接続状態を表示します。</p> <p> は左から順に、次の項目を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 顔スキャンモードが有効かどうか。 IDカードリーダーが正しく接続されているかどうか。 サーバー1がオンラインかどうか。 サーバー2がオンラインかどうか。 4Gネットワークが接続されているかどうか。 Bluetoothが接続されているかどうか。 Wi-Fiが接続されているかどうか。 <p> ヒント!</p> <p> のアイコンは「否定」を示します。</p>

番号	説明
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 合計：検知された人の総数。 ● 一般：平熱の人の数。 <p>このインターフェースは、温度測定機能が有効な場合にのみ表示されます。詳細な操作の説明については、詳細設定を参照してください。</p>
3	<p>ライブラリで特定された人物の写真と名前を表示します。登録されている1枚以上の顔写真の表示を本機で有効にするには、認証結果の表示を参照してください。</p> <p>複数の顔を選択すると、画面の左側に、直近で正常に識別された人物に関する情報が表示されます。インターフェースは、特定に成功した直近の最大5人までの情報を表示できます。</p>
4	タイトルバー。ユーザーが定義できます。
5	ユーザーが定義できるロゴバー。
6	認証結果（認証に成功、未登録など）、認証モード（顔スキャン、カードスワイプなど）、その他の情報を表示します。
7	従業員ライブラリと訪問者ライブラリの人数を表示します。
8	<p>下部のステータスバー</p> <p>本機のIPアドレス、温度、温度収集時間、温度測定モジュールソフトウェアとハードウェアのバージョン情報、照合時間を表示します。</p>

5.3 広告モード

本機は広告に対応しています（画像 3 枚まで）。広告の設定については、[広告モード](#)を参照してください。

図 5-3 広告のインターフェース



広告モードでは、人物が認証（顔スキャンまたはカードスワイプによる）に合格した場合、システムは広告モードを終了しません。人物が顔スキャンに失敗、または画面をタップした場合、システムは広告モードを終了し、本機は[メインインターフェース](#)を表示します。

5.4 マスク/温度測定インターフェース

現在の新型コロナウイルスの流行に対応して、企業、駐車場、コミュニティは温度を測定して、入口と出口を通過する人々のマスク着用の有無をチェックしています。これは担当者が手作業で行うため、疲弊して、二次感染のリスクが高まります。顔認証アクセスコントロールターミナルは、人々がマスクを着用しているかどうかチェックし、体表温度を測定できます（あ体表温度検知モジュールが必要となり、額の温度または手首の温度を測定できます）。異常な温度（事前設定された最高温度のしきい値を超える）やマスク非着用の人に対しては、顔認証アクセスコントロールターミナルが表示画面上に警告を表示し、警告音を再生します。また、実際の適用シーンに応じて扉を開くかどうかを決定することで、防疫を実現します。設定の詳細については、[詳細設定](#)と[認証シーン](#)をご覧ください。

（本書では、体表温度検知モジュールが接続されている場合も本機と表現します。）



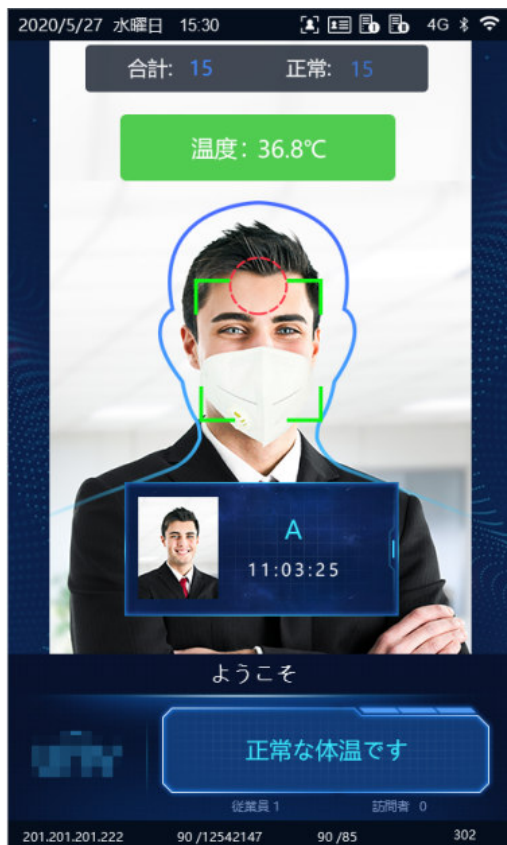
ヒント！

- 額の温度を測定するために温度測定機能が有効になっている場合、[図 5-4](#)に示すように、画面上で人の顔の輪郭に合わせ、額の中心を赤い円に向ける必要があります。手首の温度を測定する必要がある場合、手首をデジタル検知モジュールの温度測定ポイントに向ける必要があります。
- 額または手首が体表温度検知モジュールから適切な距離にあることを確認します。UFT-2040F4 (OEP-BTM32-NB) の場合、推奨距離は 0.5～0.7m です。
- 額の温度を測定する必要がある場合、額を前髪、帽子、サングラスなどの物体で覆わないようにしてください。手首の温度を測定する必要がある場合、手首を袖、時計、ブレスレットなどの物体で覆わないようにしてください。上記のような物体がある場合、温度を測定する 30 秒～1 分前に、額または手首から取り除く必要があります。
- 温度測定機能には、体表温度検知モジュールが必要です。このモジュールは、RS485 を介して本機に接続できます。設定については、[シリアルポート](#)を参照してください。
- 温度測定機能と、安全ヘルメットまたは安全モジュール機能を併用しないでください。

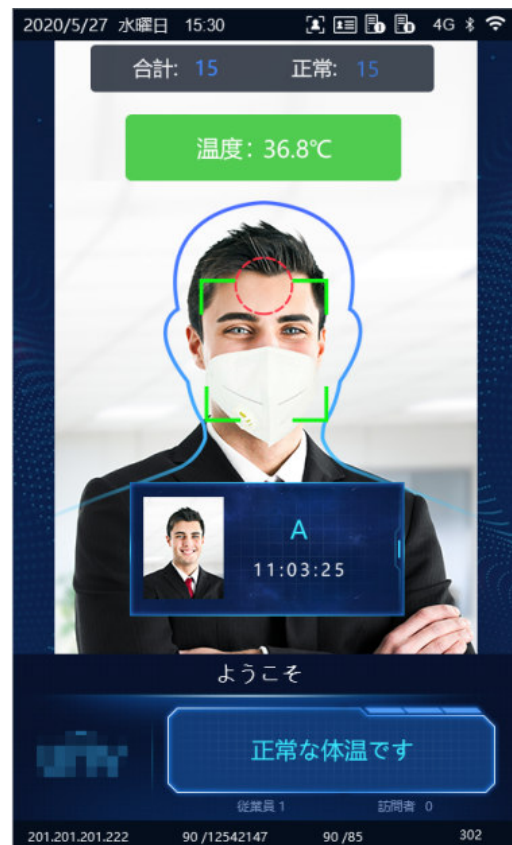
1. マスク検知と温度測定

本機でマスク検知機能と温度測定機能の両方を有効にします。ライブラリに情報が保存されている人が本機の前を通過すると、表示画面上に検知結果が表示されます。

図 5-4 平熱とマスク着用

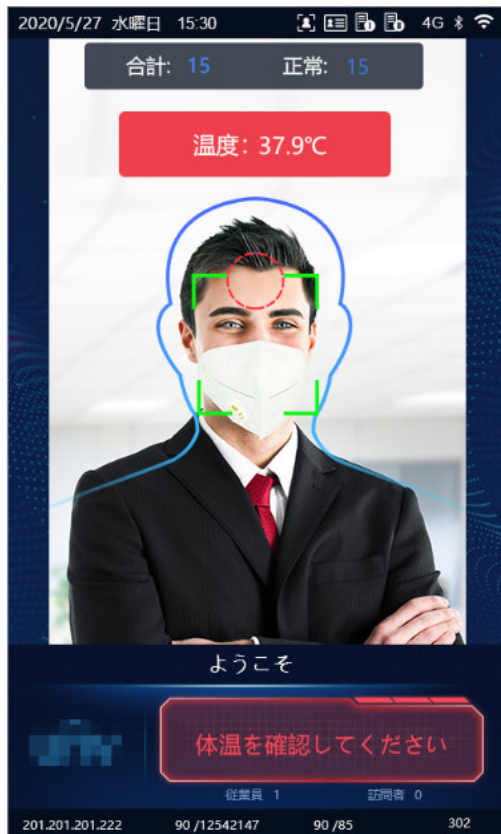


額の温度を測定



手首の温度を測定

図 5-5 マスク着用しているが異常な温度



額の温度を測定



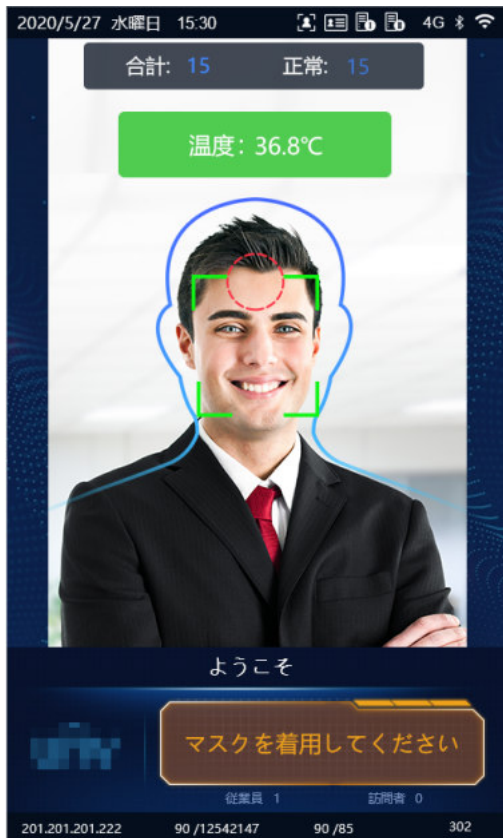
手首の温度を測定



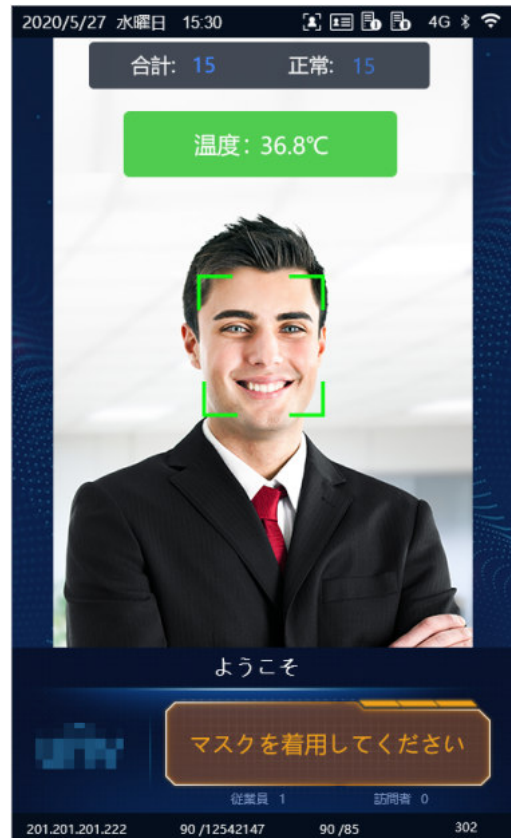
ヒント!

温度測定機能とマスク検知機能の両方が有効になっている場合、マスク検知の前に温度測定が行われます。異常な温度が検知されると、表示画面上に「異常な温度」の警告が表示され、マスクを着用しているかどうかに関係なく警告音が鳴ります。

図 5-6 平熱だがマスクを着用していない



額の温度を測定

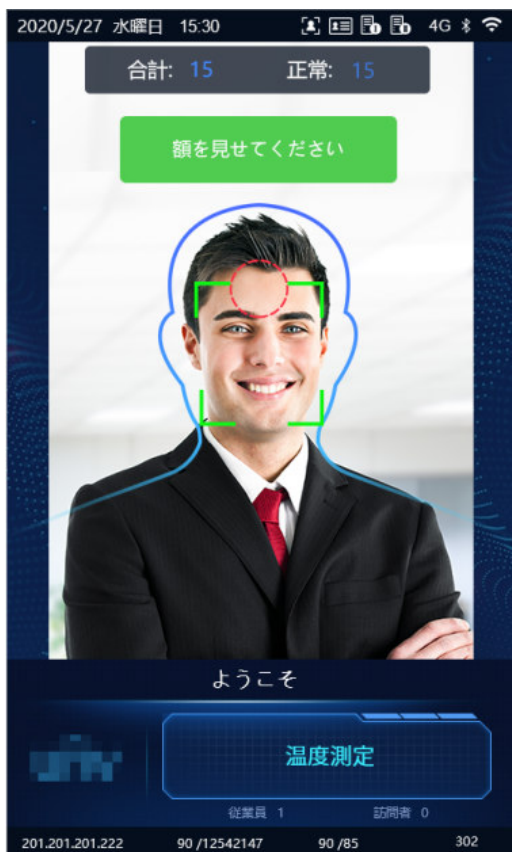


手首の温度を測定

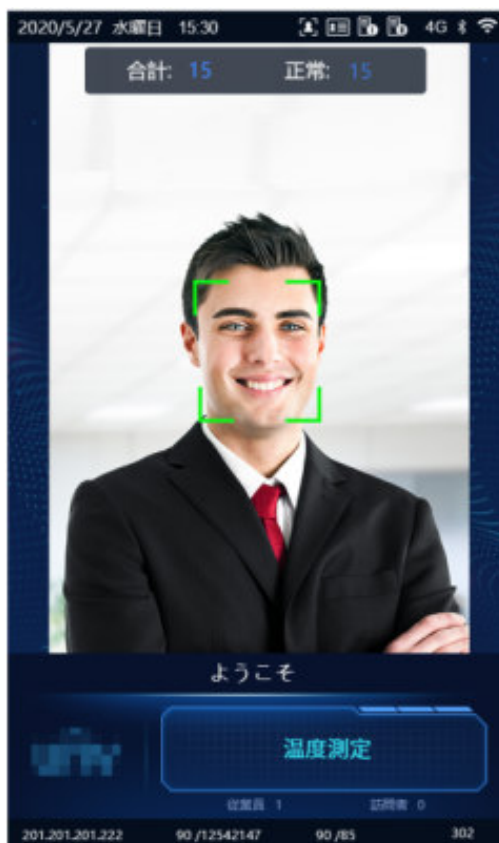
2. 温度測定モード

本機は、温度測定機能は有効だがフェイスライブラリに認証モードが設定されていない、純粋な温度測定モードをサポートしています（詳細については、[顔ライブラリの管理](#)を参照してください）。このモードでは、本機は、温度が異常に高い人の実際のシーンに基づいてドアを開くかどうかを決定します。設定の詳細については、[詳細設定](#)をご覧ください。

図 5-7 温度測定モード



額の温度を測定



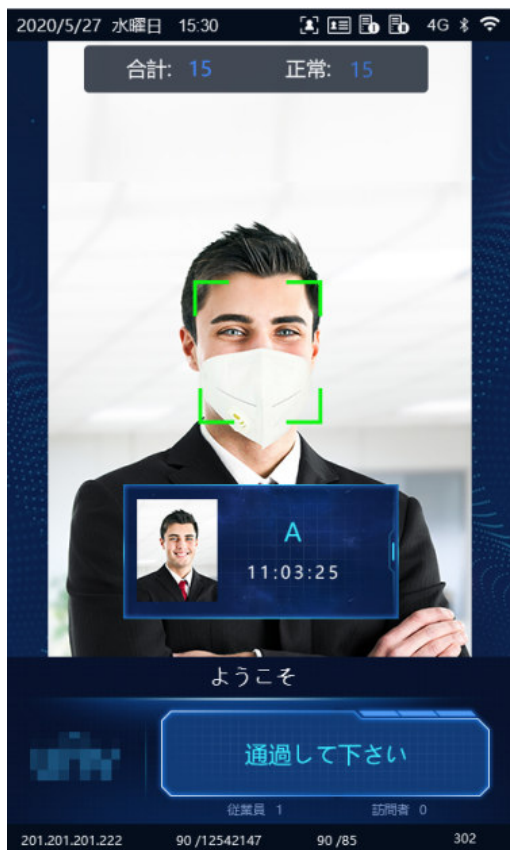
手首の温度を測定

- 平熱：検知された人の温度は正常です。表示画面上のプロンプトと音声プロンプトについては、[図 5-4](#)を参照してください。
- 異常な温度：検知された人の温度が異常です。表示画面上のプロンプトと音声プロンプトについては、[図 5-5](#)を参照してください。

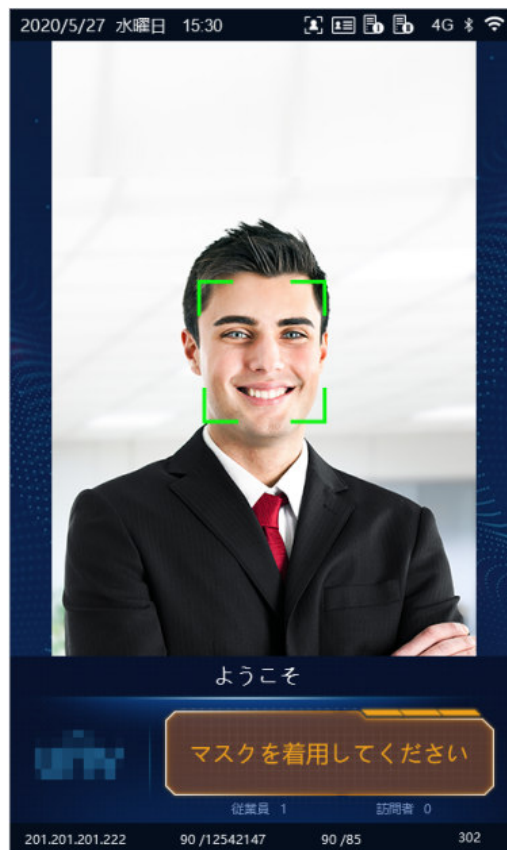
3. マスク検知

本機は、マスク検知をサポートしています。ライブラリに情報が保存されている人がマスクを着用していない場合、表示画面上で警告が表示され、警告音が鳴ります。マスクを着用していない人の場合、実際のシーンに基づいて、ターミナルがドアを開けるかどうかを判断します。設定の詳細については、[詳細設定](#)をご覧ください。

図 5-8 マスク検知



マスクを着用している



マスクを着用していない

5.5 アクティベーションの設定

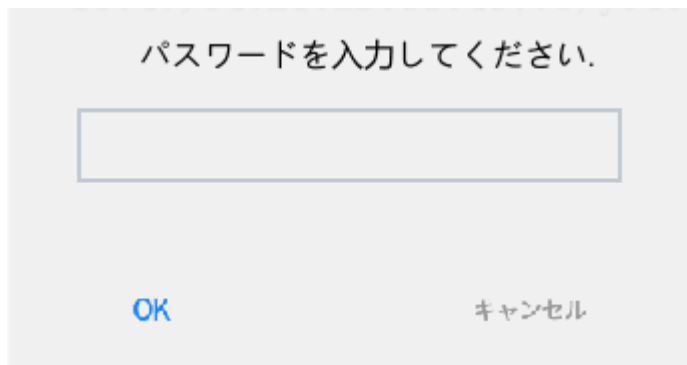
本機のメイン画面を長押し（3 秒以上）します。パスワード入力インターフェースが表示されたら、設定したいアクティベーションパスワードを入力して、アクティベーションの設定インターフェースに進みます。パスワードを忘れた場合、お近くの販売店までご連絡ください。



ヒント！

初期アクティベーションパスワードは、[初期インターフェース](#)で設定します。ローカルデバイスまたはウェブインターフェースで変更されている場合、新しいアクティベーションパスワードを入力します。

図 5-9 アクティベーションパスワードの入力インターフェース



アクティベーションの設定インターフェースでは、本機の基本情報を表示したり、デバイスの場所、ネットワーク、パスワードを設定したり、従業員情報や認証シーンの入力を行うことができます。

図 5-10 アクティベーションの設定インターフェース



5.5.1 基本情報

基本情報インターフェースを使用すると、現在のデバイスの状態をリアルタイムで表示できるため、デバイスの状態を素早く把握し、デバイスをより適切な状態に維持できます。

アクティベーションの設定インターフェースで、 をタップして、基本情報インターフェースに移動します。

図 5-11 基本情報インターフェース

基本情報	
型番	OET-231H-FC
ファームウェアバージョン	PTS-B2212.2.6.CJA002.L01.230223
ハードウェアバージョン	A
ブートバージョン	V2.6
シリアル番号	210235C5JX3234000001
ネットワーク	192.168.1.13/255.255.255.0/192.168.1.1
MACアドレス	c4:79:05:1b:24:2b
システム時間	2023/5/18 2:20:30
操作時間	0日1時間45分
管理サーバー	オフライン(-0)
エッジストレージ	正常

5.5.2 デバイスの場所

サポートされていません。

5.5.3 ネットワークの設定

ネットワークの設定インターフェースでは、本機が外部機器と通信できるように、本機の IP アドレスなどの通信パラメータを変更できます。


(1) アクティベーションの設定インターフェースで、 をタップして、ネットワークの設定インターフェースに移動します。

図 5-12 ネットワークの設定インターフェース

The screenshot shows a mobile application interface for network settings. At the top, there is a back arrow and the title 'ネットワーク設定' (Network Settings). Below the title, there are three input fields: 'IPアドレス' (IP Address) with the value '192 . 168 . 1 . 13', 'サブネットマスク' (Subnet Mask) with the value '255 . 255 . 255 . 0', and 'デフォルトゲートウェイ' (Default Gateway) with the value '192 . 168 . 1 . 1'. Below these fields is a large grey rectangular area, possibly for a QR code or additional information, with some faint text '10:51:34:61:2D:88:45:73, y04000y'. At the bottom of the screen, there is a blue button labeled '保存' (Save).

(2) 次の表を参考に、ネットワークのパラメータを設定します。

表 5-1 パラメータの説明と設定

パラメータ	パラメータの説明と設定
IPアドレス	本機のIPアドレスを入力します。 本機のIPアドレスは、ネットワーク全体で一意に定まる必要があります。
サブネットマスク	本機のサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

(3) **保存** をタップして、ネットワークの設定を保存します。

5.5.4 アクティベーションパスワード

設定されたアクティベーションパスワードを変更するには、次の手順を実行します。


- (1) アクティベーションの設定インターフェースで、 をタップして、アクティベーションパスワードのインターフェースに移動します。

図 5-13 アクティベーションパスワードのインターフェース

(2) 古いパスワードと新しいパスワードを入力し、必要に応じて新しいパスワードを確認します。



ヒント！

- パスワードには、少なくとも8文字を含める必要があります（大文字、小文字、数字、アンダーバー、ハイフンのうち、少なくとも2種類を含む）。
- 確認用パスワードは、新しいパスワードと一致している必要があります。
- アクティベーションパスワードは、**admin** がウェブインターフェースにログインするためのパスワードと一致しています。アクティベーションパスワードを変更した場合、新しいパスワードを使用してウェブインターフェースにログインします。

(3) **保存**をタップして、アクティベーションパスワードの変更を完了します。

5.5.5 管理者パスワード

パスワードによるドアの開錠機能により、ユーザーは管理者パスワードを入力してドアを開くことができます。管理者パスワードは、本機の管理者（管理センターの人など）に適用されます。

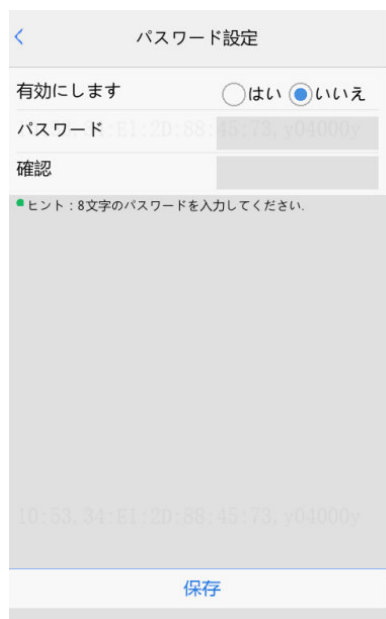
管理者パスワードはデフォルトで無効になっています。管理者パスワードを有効にする必要がある場合は、**はい**をタップし、**パスワード**と**確認**にパスワードを入力します。



ヒント！

- パスワードは8文字の文字列でなければなりません。
- 確認用パスワードは、パスワードと一致している必要があります。

図 5-14 管理者パスワードの設定インターフェース



5.5.6 ユーザ管理

本機では、従業員情報を入力できます。本機に情報が正常に入力されている従業員は、カードまたは資格情報をスワイプしたり、顔スキャンによりアクセスしたりできます。

1. 顔写真の収集に関する条件

ホワイトリストに人物を追加する場合、次の条件を厳守して顔写真を収集してください。

- 帽子を被らず、マスク、サングラスをかけず、顔の輪郭が解る顔全体が映った正面の写真である必要があります。
- 登録中の本機の画面には、収集している人物の顔(写真)のみが表示している必要があります。(複数人写真禁止)
- 白や青などの単色の背景であることが望ましい。
- 撮影の際には、適度な明るさの光が必要です。暗すぎたり明るすぎる写真や、色が薄かったり濃すぎる写真は受け付けられません。

2. 従業員情報入力操作プロセス


- (1) アクティベーションの設定インターフェースで、 ユーザー管理 をタップして、ユーザー管理インターフェースに移動します。

図 5-15 ユーザ管理インターフェース

(2) 次の表を参照しながら、従業員情報入力を設定します。

表 5-2 パラメータの説明と設定

パラメータ	パラメータの説明と設定	備考
名前	入力必須です。 本人の名前を入力します。	/
性別	本人の性別を設定します。 男性 または 女性 を選択してください。初期値は 男性 です。	/
カード番号	従業員のカード番号を入力します。 入力に成功すると、従業員はカードをスワイプしてアクセスできるようになります。	従業員情報を正しく入力できるように、少なくとも1つのパラメータを設定する必要があります。
顔写真	顔写真の収集に関する条件 を参照して顔写真を収集、入力します。 入力に成功すると、従業員は顔スキャンによってアクセスできるようになります。	

(3) 人物の顔写真を収集して入力するには、次の操作を行います。

- a インターフェースのプロンプトに従い、カメラに向くように依頼します。
- b 表示画面上に表示される写真が[顔写真の収集に関する条件](#)に示す条件を満たしている場合、

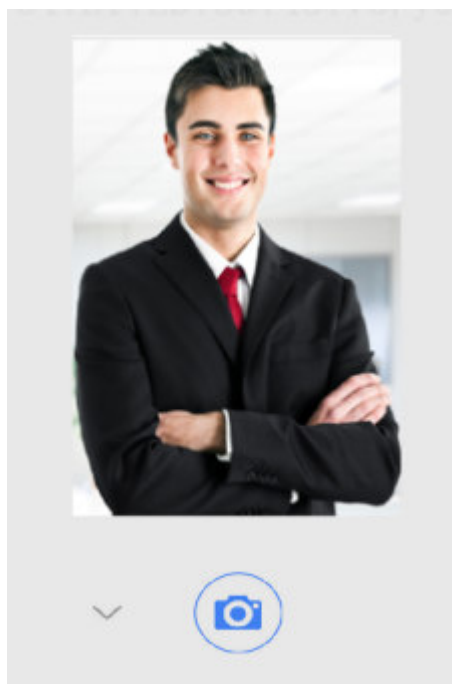


をタップして、顔のスナップショットを収集します。下図を参照してください。



は戻るボタンです。

図 5-16 顔写真の収集と入力

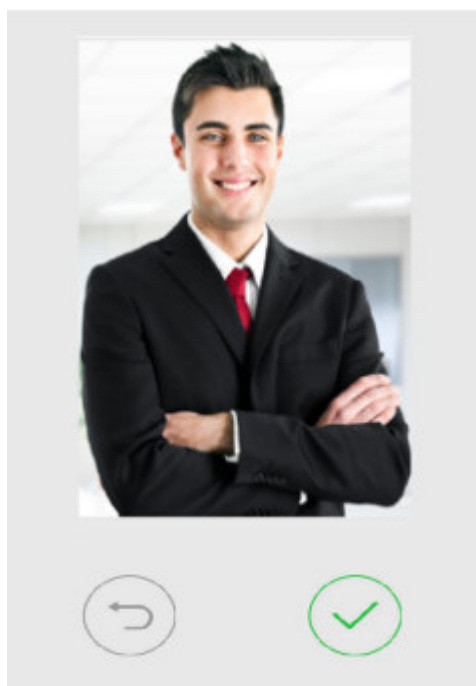


- c 顔写真確認インターフェースで、 をタップして、収集した顔写真を確認します。



は戻るボタンです。

図 5-17 顔写真確認インターフェース



- (4) ユーザー管理インターフェースで**保存**をタップして、入力した従業員情報を保存します。

5.5.7 認証シーン

このインターフェースを使用すると、本機の認証シーン、温度測定範囲、温度アラーム値、その他のデータを設定できます。次の表は、詳細な設定を示しています。

図 5-18 認証シーンのインターフェース

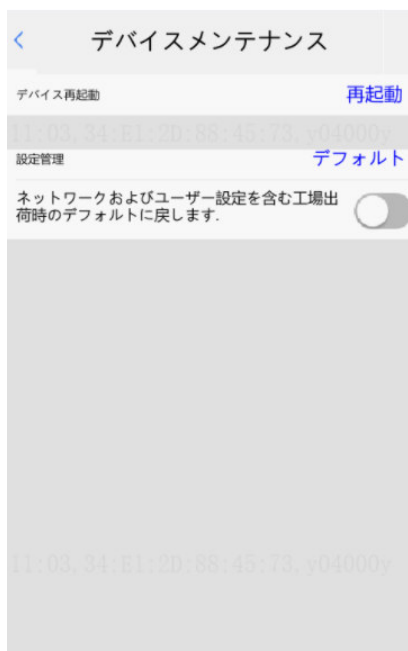
パラメータ		説明と設定
認証シーン	温度測定のみ	本機、人体の温度のみを測定し、その他の認証は行いません。表示画面上のプロンプトについては、 温度測定モード を参照してください。 注意：このシーンでは、本機で設定されているすべてのライブラリの認証モードが消去されます。
	顔検知 + 温度測定	顔検知に成功し、温度が正常である場合にのみ、その人の通過を許可します。表示画面上的プロンプトについては、 マスク検知と温度測定 を参照してください。
	顔認証 + 温度測定	フェイスホワイトリストモード + 温度測定モードを採用しています。 顔認証に成功し、温度が正常である場合にのみ、その人（ライブラリに情報が保存されている）の通過を許可します。表示画面上的プロンプトについては、 マスク検知と温度測定 を参照してください。 注意：このシーンは、デフォルトの従業員ライブラリが 顔ライブラリの管理 に存在する場合にのみ設定できます。
マスク検知		実際のアプリケーションシーンに基づいて、有効または無効にします。


パラメータ		説明と設定
温度設定	温度単位	オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • ℃ • ℉ 実際のシーンに応じてパラメータを設定します。
	温度管理範囲	値の範囲：[30～45]、デフォルトの範囲：[35.5～42] 実際のアプリケーションシーンに基づいて、範囲を設定します。
	温度アラームしきい値	体表温度検知モジュールは、ここで設定したしきい値より高い温度を検知した場合、表示画面上に「異常な温度」の警告が表示され、警告音が鳴ります。 値の範囲：[30～45]、デフォルト値：37.3

5.5.8 デバイスマンテナンス

デバイスマンテナンスインターフェースでは、本機の再起動とデフォルト設定の復元ができます。

図 5-19 デバイスマンテナンスインターフェース



- 再起動：<再起動>をタップした後、確認画面で<OK>をタップしてデバイスを再起動します。
- デフォルトに復元
 - <デフォルト>をタップした後、ポップアップ確認画面で<OK>をタップしてデフォルトに戻します。
 ネットワーク設定、システム時間、管理者パスワード、アクティベーションパスワードなど、すべてのパラメータが工場出荷時の設定に復元されます。
 - 最初に  をタップし、<デフォルト>をした後、確認画面で<OK>をタップして工場出荷時の設定を復元します。すべてのパラメーターが工場出荷時の設定に戻ります。

6 従業員情報の管理

6.1 従業員情報入力

1. ローカル入力

本機では、ローカルで情報を入力できます。操作の詳細については、[ユーザ管理](#)を参照してください。

2. ウェブインターフェースでの入力

本機のウェブインターフェースで従業員情報をインポートできます。操作の詳細については、[従業員情報の管理](#)を参照してください。

3. ガードステーションソフトウェアを使用した入力

ガードステーションソフトウェアで従業員情報をエクスポートできます。詳しい操作については、ソフトウェアのオンライン資料を参照してください。

6.2 従業員情報の削除

1. ウェブインターフェースでの削除

本機のウェブインターフェースで、従業員情報を削除できます。操作の詳細については、[従業員情報の管理](#)を参照してください。

2. ガードステーションソフトウェアを使用した削除

ガードステーションソフトウェアで従業員情報を削除できます。詳しい操作については、ソフトウェアのオンライン資料を参照してください。

7 ウェブ操作

7.1 ログイン

7.1.1 準備

製品のクイックガイド(本機の付属品に含まれています)を参照して本機の取り付けと配線を行います。本機を電源に接続し、起動します。本機は、ウェブブラウザを使用して管理および保守できます。

PC には、Windows7、8 以降がインストールされています。以下では、Windows 7 を例にして説明します。

1. ログイン前のチェック

- 本機が正常に動作している。
- クライアント PC と本機間のネットワーク接続が良好である。
- PC では、Google Chrome 105 以降を推奨しています。
- (オプション) 解像度が 1440 x 900 に設定されている。



ヒント!

32MP ライブビューのための推奨 PC 構成：Intel® Core™ i7 8700 プロセッサ、GTX 1080 グラフィックカード、DDR4 8GB 以上。


7.1.2 ウェブインターフェースへのログイン

本機のデフォルト静的 IP アドレスは 192.168.1.13 です。本機は、IP アドレス 192.168.0.13 およびサブネットマスク 255.255.255.0 を使用した単純なログインもサポートしています。

動的ホスト構成プロトコル (DHCP) は、デフォルトで有効になっています。DHCP サーバーがネットワークで使用されている場合、IP アドレスがダイナミックに割り当てられることがあります。この場合、ログインには実際の IP アドレスを使用します。動的 IP アドレスが割り当てられたときに実行される操作については、[こちら](#) をクリックして参照してください。

ウェブインターフェース (例として、クローム) にログインする手順は次のとおりです。

- (1) ブラウザのアドレスバーに IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。
- (2) 初回ログイン時に、画面の指示に従ってプラグインをインストールし (インストール前にすべてのブラウザを閉じてください)、再度ブラウザを開いてログインする必要があります。手動でプラグインを読み込むには、アドレスバーに `http://IP address/ActiveX/Setup.exe` と入力し、Enter キーを押してください。

 Please click here to [Download](#) and install the latest plug-in. Close your browser before installation.

- (3) ライブビューは、ログイン後に自動で開始するかどうかを設定します。
 - ライブビューを選択した場合、ログイン後にライブビューが自動的に開始されます。
 - ライブビューを選択しない場合は、手動でライブビューを開始する必要があります。
- (4) ユーザー名とパスワード (デフォルトでは admin/123456) を入力し、「ログイン」をクリックします。ユーザー名とパスワードのテキストボックスを消去するには、[リセット] をクリックします。

(5) ユーザ名とパスワードを入力し、Login をクリックします。

図 7-1 ログインインターフェース



The screenshot shows a login form with a dark blue header. In the top right corner, there is a language dropdown menu set to '日本語'. The form contains the following elements:

- A 'ユーザー名' (Username) field with the text 'admin' entered.
- A 'パスワード' (Password) field that is currently empty.
- A link 'パスワードをお忘れ...' (Forgot your password?) next to the password field.
- A checkbox labeled 'ライブビュー' (Live View) which is checked.
- Two buttons at the bottom: 'ログイン' (Login) and 'リセット' (Reset).

次の表は、インターフェースのパラメータとプラグイン、およびそれらの構成を示しています。

表 7-1 パラメータの説明と設定

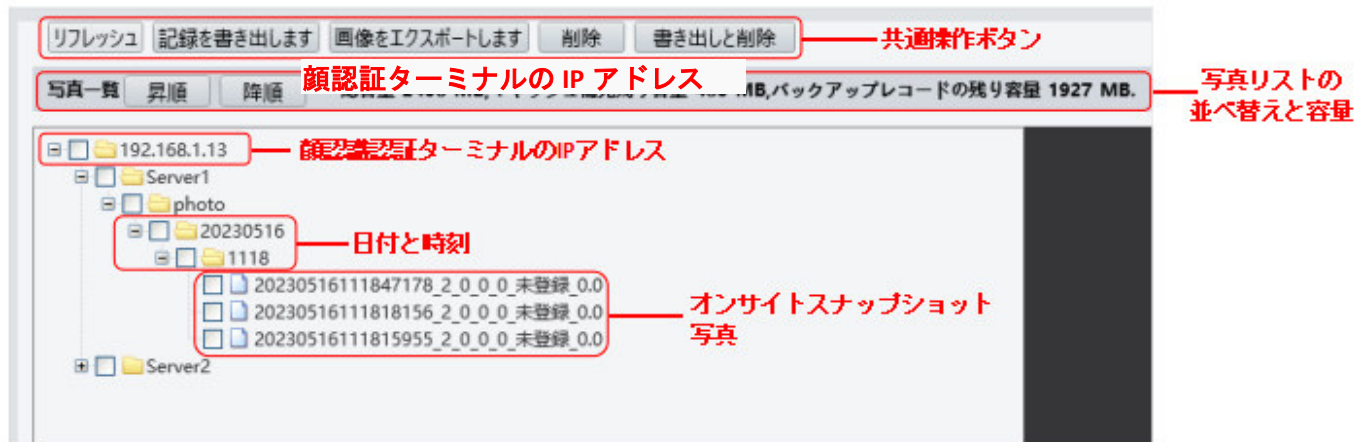
パラメータ/プラグイン	説明	設定
ユーザ名/パスワード	ウェブインターフェースにログインするためのユーザー名とパスワード。 初回ログイン時： デフォルトのユーザー名は admin で、デフォルトのパスワードは 123456 です。 管理者 がウェブインターフェースにログインするためのパスワードは、アクティベーションパスワードと同じです。アクティベーションパスワードを変更した場合は、ここに新しいパスワードを入力します。	ユーザー名とパスワードを入力します。
ライブビュー	<ul style="list-style-type: none">● 選択すると、ウェブインターフェースにログインした後、すべてのライブビュー画面にライブビュー動画が表示されます。● 選択を解除すると、ライブビューが手動で有効にされた後にのみ、ライブビュー動画が表示されます。	実際の条件に応じてパラメータを設定してください。 この例では選択されています。
パスワードを忘れた場合	クリックしてパスワードを取得します。	/
リセット	リセット をクリックすると、 ユーザー名 、 パスワード および 保存ボックス の入力内容が消去されます。 言語や ライブビュー などの他のボックスは、リセットまたは消去されません。	/

7.2 写真

本機でキャプチャされた顔写真は**写真メニューバー**に保存されます。

メニューバーで**写真**をクリックします。現在の写真の保存状態が表示されます。

図 7-2 写真情報



7.2.1 写真リストの並べ替え

昇順または降順をクリックして、写真リストを並べ替えることができます。

7.2.2 容量の合計/空き容量

ローカル記録媒体の容量の合計と空き容量が表示されます。

7.2.3 写真命名規則

下図に示したフォーマットで写真に名前が付与され、写真リストに保存されます。

図 7-3 写真名



命名規則は次のとおりです：

スナップショット時刻 + 照合結果コード + 類似度最高値 (1 個の値) + 類似度最高値に対応する人物に関する情報 (人物 ID + 顔 ID + 名前) + 検出温度

照合結果には以下の情報が含まれることがあります：

- 1：認証成功

- 2：認証失敗
- 3：認証は成功したが、有効時間帯でない
- 10：異常温度またはマスク非着用
- 21：人物作成成功
- 22：人物変更成功
- 23：顔収集成功
- 24：無効値

部外者がスキャンされると、照合結果に「0_0_unidentified」が表示されます。

7.2.4 写真ライブラリの更新

リフレッシュをクリックすると、保存されているコンテンツが最新の状態に更新されます。

7.2.5 録画のエクスポート

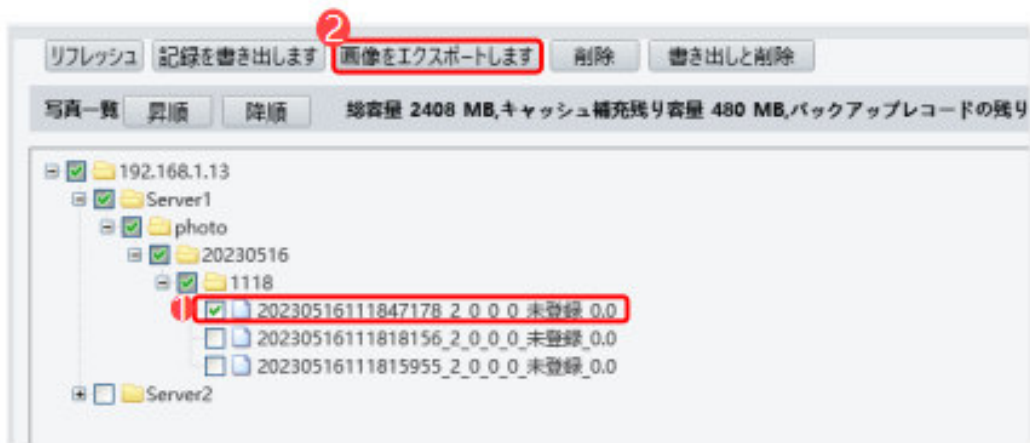
データベースから、操作の記録をエクスポートできます。

7.2.6 写真のエクスポート

本機に保存されている写真のすべてまたは一部をエクスポートできます。

- (1) **写真** リストインターフェースに移動します。
- (2) エクスポートしたい写真を選択します。
- (3) **画像をエクスポートします**をクリックし、写真をエクスポートする保存パスを選択します。

図 7-4 エクスポート操作インターフェース



- (4) エクスポートされた写真を保存しているフォルダにアクセスして、エクスポートされた写真を表示します。

7.2.7 写真の削除

- (1) **写真** リストインターフェースに移動します。
- (2) 削除したい写真を選択します。
- (3) **削除**をクリックします。
- (4) 削除確認ボックスで **OK** をクリックして、削除操作を完了します。

図 7-5 削除操作インターフェース

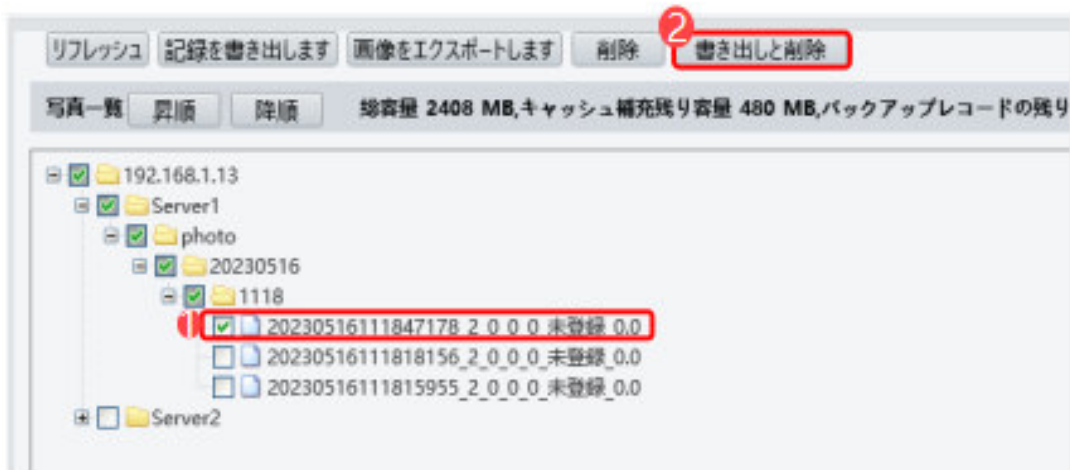


7.2.8 写真のエクスポートと削除

書き出しと削除をクリックすると、本機から、選択された写真がエクスポートされ削除されます。

- (1) 写真 リストインターフェースに移動します。
- (2) エクスポートして削除したい写真を選択します。
- (3) 書き出しと削除をクリックします。
- (4) 削除確認ボックスで **OK** をクリックします。

図 7-6 エクスポートと削除の操作インターフェース



- (5) 写真の保存パスを選択し、**OK** をクリックして、エクスポートと削除の操作を終了します。

7.3 パラメータの構成

7.3.1 一般

1. 基本情報

- 基本情報

基本情報インターフェースを使用すると、現在の本機の状態をリアルタイムで表示できるため、状態を素早く把握し、より適切な状態に維持できます。

(1) セットアップ>一般>基本情報を選択し、基本情報タブをクリックします。

図 7-7 基本情報インターフェース

基本情報		外部装置
基本情報		
型番	OET-231H-FC	
ファームウェアバージョン	QPTS-B2212.2.6.CJA002.L01.230223	
ハードウェアバージョン	A	
ブートバージョン	V2.6	
シリアル番号	210235C5JX3234000001	
ネットワーク	192.168.1.13/255.255.255.0/192.168.1.1	
MACアドレス	c4:79:05:1b:24:2b	
ステータス		
システム時刻	2023/5/16 11:30:55	
操作時間	0日0時間6分	
<input type="button" value="リフレッシュ"/>		

(2) リフレッシュをクリックすると、本機のステータスが最新の状態に更新されます。更新インターフェースでは、現在の本機のステータス情報を表示できます。

- 外部装置

外部装置インターフェースでは、温度測定モジュール関連の情報を表示できます。

セットアップ>一般>基本情報を選択し、外部装置タブをクリックします。

図 7-8 外部装置

基本情報		外部装置
温度測定モジュール		
型番	254	
ファームウェアバージョン		
ハードウェアバージョン	00	



ヒント！

ファームウェアとハードウェアのバージョンが一致した場合にのみ、温度測定機能を正常に使用できます。

2. ローカル設定

PCにローカルパラメータを設定します。

(1) セットアップ>一般>ローカル設定を選択し、ローカル設定インターフェースに移動します。

- (2) 次の図に、ローカル設定インターフェースを示します。次の表を参考に実際の条件に基づいて、パラメータを変更します。

図 7-9 ローカル設定インターフェース

表 7-2 パラメータの説明と設定

エリア	パラメータ	説明
インテリジェントマーク	未トリガータゲット	サポートされていません。
ビデオ	処理モード	<p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> リアルタイム優先：ネットワークの状況が良好な場合に推奨されます。 スムージング優先：ライブビデオでタイムラグを小さくしたい場合に推奨されます。 超低遅延：ライブビデオでタイムラグを最小限に抑えたい場合に推奨されます。 <p>ネットワークの状況が良好な場合は、リアルタイム優先が推奨されます。ネットワークに遅延があった場合は、流暢さ優先が推奨されます。ライブビューの遅延度をリアルタイム優先よりも低くする必要がある場合は、超低レイテンシが推奨されます。</p>
	プロトコル	<p>メディアストリームを送信して PC でデコードする際に使用されるプロトコルを設定します。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> UDP TCP
音声	エンコードフォーマット	クライアントによる音声エンコードフォーマット。
録画とスナップショット	録画	<p>ローカル録画サブセクションタイプ。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間による分割：コンピュータ内の各録画ファイルの録画済みビデオの再生時間です。例：2分。 サイズによる分割：コンピュータに保存されている各録画ファイルのサイズです。例：5M。

エリア	パラメータ	説明
	サブセクション時間 (分)	このパラメータは、録画が 時間別サブセクション に設定されている場合にのみ表示されます。 値の範囲は 1 分から 60 分です。 実際の条件に基づいて、値を入力できます。
	サブセクションサイズ (MB)	このパラメータは、録画が サイズ別サブセクション に設定されている場合にのみ表示されます。 値の範囲は 10MB から 1024MB です。 実際の条件に基づいて、値を入力できます。
	ストレージが一杯の場合	オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 上書き録画：コンピュータ内で割り当てられているストレージスペースを使い果たした場合、本機は、新しい録画ファイル用のスペースを作るため、既存の録画ファイルを削除します。 ● 録画停止：コンピュータ内で割り当てられているストレージスペースが一杯になると、自動的に録画が停止します。
	容量の合計 (GB)	ローカル録画に割り当てられている容量の合計です。 値の範囲は 1GB から 1024GB です。 実際の条件に基づいて、値を入力できます。
	ファイルフォルダ	スナップショット写真の保存パスです。

(3) 保存をクリックして、設定を保存します。

3. イーサネット

本機が他のデバイスと通信できるように、本機の IP アドレスなどの通信設定を変更します。



ヒント！

IP アドレスを変更した後は、新しい IP アドレスを使用してログインする必要があります。

- (1) セットアップ > 一般 > イーサネットを選択し、イーサネット設定インターフェースに移動します。

図 7-10 イーサネットの設定インターフェース

1 IPアドレスを取得します
 IPアドレス
 サブネットマスク
 デフォルトゲートウェイ

2 IPv6
 IPv6モード
 IPv6アドレス
 プレフィックス長
 デフォルトゲートウェイ

3 MTU
 ポートタイプ
 動作モード

- (2) 上の図の ① IPアドレスを取得します、を設定します。
 - IPアドレスを取得しますが静的に設定されている場合、次の図を参考にして設定を完了します。

図 7-11 静的アドレスの設定インターフェース

IPアドレスを取得します
 IPアドレス
 サブネットマスク
 デフォルトゲートウェイ

表 7-3 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
IPアドレス	本機のIPアドレスを入力します。 本機のIPアドレスは、ネットワーク全体で一意に定める必要があり、127から始めることはできません。
サブネットマスク	デバイスのサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウ	デバイスのデフォルトゲートウェイを入力します。

パラメータ	説明と設定
エイ	

- **IPアドレスを取得しますが PPPoE に設定されている場合、次の図を参考にして設定を完了します。**

本機が Point to Point over Ethernet (PPPoE) を介してネットワークに接続される場合、IP 取得モードで PPPoE を選択する必要があります。

図 7-12 PPPoE の設定インターフェース

表 7-4 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
ユーザー名	インターネットサービスプロバイダー (ISP) から提供されたユーザー名とパスワードを入力します。
パスワード	



ヒント！

この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

- **IPアドレスを取得しますが DHCP に設定されている場合、次の図を参考にして設定を完了します。**

本機の工場出荷時は、デフォルトでダイナミックホスト設定プロトコル (DHCP) が有効になっています。ネットワークに DHCP サーバーが展開されている場合、本機は、自動的に DHCP サーバーから IP アドレスを取得することができます。

図 7-13 DHCP の設定インターフェース

- (1) 上の図の ② が示す通り、IPv6 の設定はサポートされていません。
- (2) 上の図の ③ で示すパラメータを設定します。

表 7-5 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
MTU	値の範囲は576から1500です。 このパラメータは、 IPアドレスを取得します 、に設定されている場合は表示されません。
ポートタイプ	デフォルト値は、 FE Port です。デフォルト値を保持します。
操作モード	オプションは次のとおりです。 10Mハーフデュプレックス 10Mフルデュプレックス 10M自動ネゴシエーション 100Mハーフデュプレックス 100Mフルデュプレックス 100M自動ネゴシエーション 自動ネゴシエーション

(3) **保存** をクリックして、設定を保存します。

4. 時間

ユーザーは、次の方法で本機のシステム時刻を正しく調整できます。

(1) **セットアップ** > **一般** > **時間** を選択し、**時間** インターフェースに移動します。

図 7-14 時間の設定インターフェース

表 7-6 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
同期モード	オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● システム設定との同期：時間は、システムの初期設定の時間に同期されます。 ● NTP サーバーとの同期：時間は、NTP サーバーの時間に同期されます。 ● 管理サーバー（ONVIF）との同期：時間は、管理サーバーの時間に同期されます。 ● 直近のサーバー時間と同期：時間は、ネットワーク内の全サーバーの直近の時間に同期されます。
タイムゾーン	正しいタイムゾーンを選択します。
システム時間	このパラメータは、同期モードが システム構成と同期します 、または最新のサーバー時間に同期します、に設定されている場合にのみ使用できます。 正しい時間に設定します。
コンピュータの時間と同期	このパラメータは、同期モードが システム構成と同期します 、または最新のサーバー時間と同期します、に設定されている場合にのみ使用できます。 システム時間は、ローカル PC の時間に同期します。

パラメータ	説明と設定
NTP サーバーアドレス	このパラメータは、 同期モード が NTP サーバーと同期します、に設定されている場合にのみ表示されます。 NTP サーバーの IP アドレスを入力します。
更新間隔 (秒)	このパラメータは、 同期モード が NTP サーバーと同期します、に設定されている場合にのみ表示されます。 NTP サーバーと時間を同期する間隔を示します。 値の範囲は 30 秒から 3600 秒です。

(2) **セットアップ**>**一般**>**時間**を選択し、**DST** タブをクリックして **DST** タブページに移動します。

図 7-15 DST の設定インターフェース

表 7-7 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
夏時間	オプションは次のとおりです。 ● オン ● オフ 以下のパラメーターは、 DST が オン に設定されている場合にのみ、設定可能です。
開始時間	実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。
終了時間	実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。
DST バイアス	オプションは次のとおりです。 ● 30 分 ● 60 分 ● 90 分 ● 120 分 実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。

(3) **保存** をクリックして、設定を保存します。

5. サーバー

本機がスタンドアロンモードを使用している場合、サーバー情報を設定する必要はありません。

インテリジェントサーバー接続時、本機は、進入/退出記録とキャプチャした画像を含むデータを、インテリジェントサーバーにリアルタイムでアップロードできます。次の手順に従ってインテリジェントサーバーを設定してください。

(1) **セットアップ**>**一般**>**サーバー**を選択し、インテリジェントサーバータブをクリックします。

(2) インテリジェントサーバー 1 で、次の表を参考にして設定を完了します。

図 7-16 インテリジェントサーバーの設定インターフェース

表 7-8 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
サーバーIP	サーバーのIPアドレス
サーバーポート	サーバーのポート番号。デフォルト：5196
プラットフォーム通信タイプ	<p>実際の接続手順に基づいた通信プロトコルを選択します：</p> <ul style="list-style-type: none"> UV-V2: ターミナルがガードステーションに接続されている場合、このオプションを選択します。 FTP: 画像をFTPで転送する場合、FTPの設定ページでサーバー情報を追加する必要があります。 LAPI V2: ターミナルとプラットフォーム間の通信にネットワークアドレス変換 (NAT) が必要な場合、このオプションを選択します。
カメラ番号	<p>カメラ番号は、本機がプラットフォームサーバーと接続するのに使用する識別子です。ネットワークでは、カメラ番号を一意に定める必要があります。</p> <p>注意：プラットフォーム間通信タイプがUV-V2に設定されている場合にのみ、設定する必要があります。デフォルト設定を使用します。</p>
キープアライブ間隔 (秒)	<p>本機とプラットフォーム間の通信がない時間の長さがキープアライブ間隔を超える場合、新たに永続的なLAPI接続が必要となります。</p> <p>注意：プラットフォーム間通信タイプがLAPI V2に設定されている場合にのみ、</p>

パラメータ	説明と設定
	設定する必要があります。.
アップロード応答を記録します	<ul style="list-style-type: none"> オン: 本機はプラットフォームからの応答に従い、記録がプラットフォームに正常にアップロードされたかどうかを確認します。 オフ: 本機は、上記の検証を実行せずに記録をプラットフォームにアップロードします。 <p>注意: プラットフォーム間通信タイプがLAPI V2に設定されている場合にのみ、設定する必要があります。.</p>



ヒント!

本機がガードステーションに接続されている時は、上記の表を参照にして有効にしますインテリジェントサーバー2のチェックボックスをオンにして設定を完了します。

6. ユーザー

本機では、1人の管理者と最大32人の一般ユーザーをサポートしています。管理者はデフォルトで **admin**（管理者名は変更できません）であり、本機とユーザーに対するすべての管理および操作権限を持っています。一般ユーザーは、本機のライブ表示権限のみを持っています。

6A. 一般ユーザーの追加

- (1) ターミナルインターフェースに **admin** としてログインします。
- (2) **セットアップ > 一般 > ユーザー** を選択し、**ユーザーインターフェース** に移動します。
- (3) 次の図に示す手順に従って、一般ユーザーを追加します。

図 7-17 一般ユーザーの追加のインターフェース

The screenshot shows a terminal window titled 'ユーザー' (User). At the top, there are buttons for '追加' (Add), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). Below these is a table with columns '番号' (Number), 'ユーザー名' (User Name), and 'ユーザータイプ' (User Type). The table contains one entry: '1', 'admin', and '管理者' (Administrator). A dialog box titled '追加' (Add) is open in the foreground. It has three input fields: 'ユーザー名' (User Name) with the value '123', 'ユーザータイプ' (User Type) with a dropdown menu set to '一般ユーザー' (General User), and 'パスワード' (Password) with masked characters. Below the fields are three buttons: '戻る' (Back), '中' (Cancel), and '続' (Next). At the bottom of the dialog, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. Red circles and boxes highlight the '追加' button, the 'OK' button, and the '続' button.

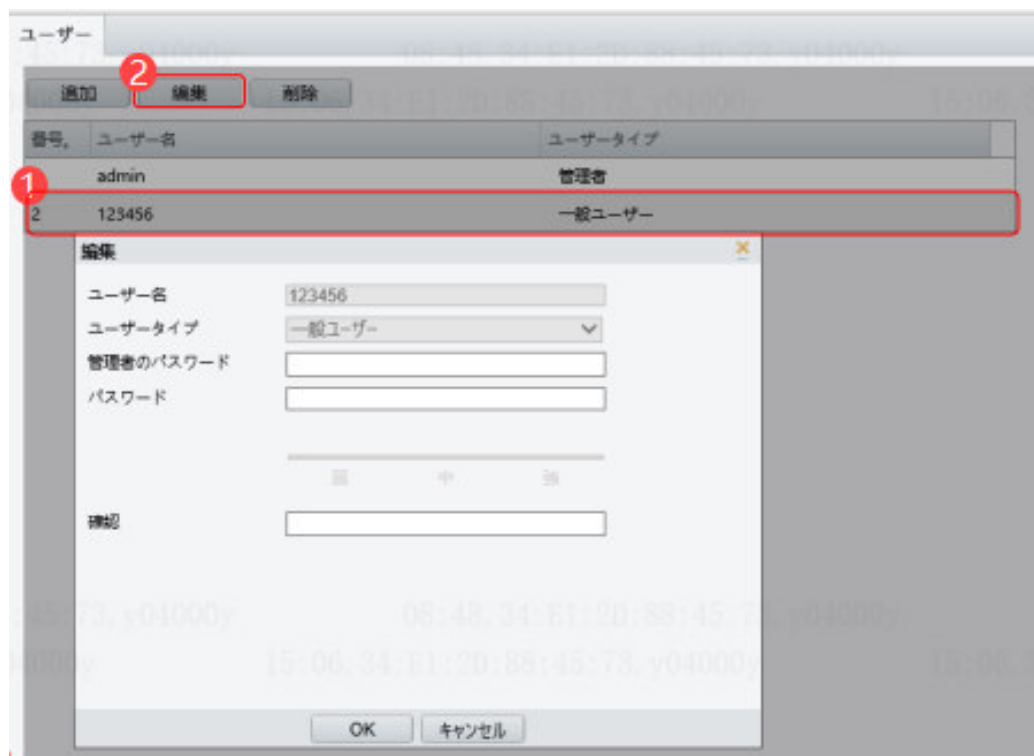
6B. 一般ユーザーの編集

以下は、一般ユーザーを例にしています。 **admin** の編集手順は、一般ユーザーの編集手順と同じです。

- (1) ターミナルインターフェースに **admin** としてログインします。
- (2) **設定 > 一般 > ユーザー** を選択し、**ユーザーインターフェース** に移動します。

(3) 編集する一般ユーザーを選択し、下図の手順でユーザー情報を編集します。

図 7-18 一般ユーザー情報の編集のインターフェース



(4) 情報を編集したら、OK をクリックしてユーザー情報を保存します。

6C. 一般ユーザーの削除

- (1) ターミナルインターフェースに **admin** としてログインします。
- (2) **セットアップ > 一般 > ユーザー** を選択し、**ユーザーインターフェース** に移動します。
- (3) 削除する一般ユーザーを選択し、次の図に示す手順に従ってユーザーを削除します。

図 7-19 一般ユーザーの削除のインターフェース



ヒント!

- パスワードを変更できるのは **admin** だけです。ユーザー名またはパスワードが変更され、ユーザーがシステムにログインした場合、ユーザーは強制的にログアウトされ、次回ログインするために新しいユーザー名またはパスワードを入力する必要があります。
- 既存のユーザーを削除できるのは **admin** だけです。ユーザーが削除された後、ユーザーはログインできません。ユーザーが削除前にシステムにログインしていた場合、ユーザーは強制的にログアウトされます。
- **admin** のウェブインターフェースのログインパスワードは、アクティベーションパスワードと同じです。admin のログインパスワードが変更されている場合、新しいパスワードを使用して [アクティベーションの設定](#) インターフェースにログインします。

7. ポートとデバイス

7A. シリアルポート

本機がシリアルポートを介してゲート機の制御を行う場合、またはICカードリーダーに接続する場合、シリアルポート情報を設定する必要があります。シリアルポートを設定するには、以下の手順を実行します。



注意！

シリアルポートの設定のインターフェースは、デバイスタイプによって異なります。

(1) セットアップ>一般>ポートとデバイス を選択し、シリアルポートタブをクリックします。

図 7-20 シリアルポートの設定のインターフェース

The screenshot shows two configuration panels. The left panel is for RS485_1 and the right panel is for RS232_1. Both panels have a 'ポートモード' (Port Mode) dropdown menu. The RS485_1 panel includes checkboxes for 'QRコードリーダーを有効にします' and '安全モジュールを有効にします', and an 'RS485アドレス' dropdown menu. The RS232_1 panel includes a 'フォーマット' (Format) dropdown menu and a checkbox for 'トランスチャネルを有効にします'. Both panels also have dropdown menus for 'ボーレート' (Baud Rate), 'データビット' (Data Bits), 'ストップビット' (Stop Bits), 'パリティ' (Parity), and 'フロー制御' (Flow Control). A '保存' (Save) button is located at the bottom left of the RS485_1 panel.

表 7-9 パラメータの説明と設定

パラメータ	RS485_1	RS232_1
ポートモード	安全/温度モジュール: 本機が RS485 シリアルポートを介して体表温度検知モジュールに接続する場合、このオプションを選択します。	IC カードモード: このオプションは、本機にカードリーダーが内蔵されている場合に表示されます j。
QRコードリーダーの有効化/安全モジュールの有効化	この構成はサポートされていません。	/
RS485アドレス	この構成はサポートされていません。	/
ボーレート	この構成はサポートされていません。デフォルト値を使用します。	

パラメータ	RS485_1	RS232_1
データビット/ ストップビッ ト/パリティ/ フローコント ロール	次のようにデフォルト値を保持します。 データビット：8 ストップビット：1 パリティ：無し フローコントロール：無し 注意！ポートモードがICカードモードのときはパラメータを設定できません。	
トランスチャ ネルを有効 にする	内部デバッグで使用されます。設定不要です。	

- (2) 実際のシーン構成に応じてシリアルポート情報を設定します。
- (3) **保存**をクリックして、シリアルポートの設定を保存します。

7B. IO 設定

本機は、ゲート機、ドアロック、アクセスコントロールボタンに接続し、ドア開錠信号をそれらに送信します。以下の操作を実行して、設定を完了します。

- (1) **セットアップ**>**一般**>**ポートとデバイス**を選択し、**IO 設定**タブをクリックします。



ヒント！

- 一部のデバイスは、1または0のIOポートからの出力のみをサポートし、IOポート設定インターフェースは機器によって異なります。
- 一部のデバイスは、ドアロックまたはアクセスコントロールボタンをサポートしておらず、IOポート設定インターフェースは機器によって異なります。

図 7-21 IO 設定のインターフェース

ID	有効にします	タイプ	レベル値	パルス幅
F1	<input checked="" type="checkbox"/>	ドアロック	低レベル	5 s
F2	<input checked="" type="checkbox"/>	ドアボタン	低レベル	100 ms
F3	<input checked="" type="checkbox"/>	アラーム出力	低レベル	100 ms

アクセスコントロール

ロック解除間隔 秒

ドア開放タイムアウト 秒


閉めると自動ドアロック オン オフ

閉める前にドアマグネッ... オン オフ

保存

- (2) 次の表を参考に、IOポート情報を設定します。

表 7-10 パラメータの説明と設定

パラメータ	パラメータの説明と設定
F1/F2/F3	<p>F1/F2/F3 は、本機の IO ポートを示します。前方のチェックボックスを選択します。そうすると、IO ポートの設定が有効になります。 IO ポートは、次のタイプの外部デバイスをサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドアロック: 本機は、IO ポートを介してドアロックにドア開錠信号を出力します。 ここでのパルス幅は、1つのドアが開いている時間を指します。ドアが開いている時間がこの時間を超えると、ドアマグネットがアラームを生成します。 値の範囲: [1~300]秒、デフォルト値: 5 秒 ● ドアボタン: 本機は、IO ポートを介してアクセスコントロールボタンからドア開錠信号を受信し、ドア開錠信号をドアロックに送信できます。 ここでのパルス幅の値は、ドアを開くボタンを押している時間がこの値に達した場合にのみ、有効なドア開錠信号が生成されることを示しています。 値の範囲: [0~20000]ミリ秒、デフォルト値: 100 ミリ秒 ● アラーム出力: 本機は、IO ポートを介してアラームを出力します。 値の範囲: [0~20000]ミリ秒、デフォルト値: 100 ミリ秒 <p>レベル値は、低レベルまたは高レベルに設定できます。0+とIO-が開いている場合「低レベル」、閉じている場合「高レベル」を選択します。この値は、外部デバイスでサポートされている入出力信号レベルと一致している必要があります。</p>
ロック解除間隔	<p>2つのロック解除操作の間隔を示します。ドアがロック解除された後、新しいロック解除信号を受信しても、ロック解除間隔内でドアが再びロック解除されることはありません。さらに、ドアロックのドアが開いている時間は再調整されません。0に設定されている場合、ロック解除信号が受信されるたびに、ドアのロック解除がトリガーされ、ドアロックのドアが開いている時間が再調整されます。 値の範囲: [0~300]秒、デフォルト値: 0 秒</p>
ドアの開錠タイムアウト	<p>施錠時の自動ドアロックが有効になっている場合、ドアの施錠時間がここで指定した値を超え、ドアマグネットが、ドアが施錠位置にあることを検知すると、本機が自動的にドアを施錠します。 値の範囲: [1~300]秒、デフォルト値: 10 秒</p> <p> ヒント!</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 非常に小さな値に設定するのは推奨しません。非常に小さな値に設定すると、通常のドアの開閉に影響します。 ● ドアマグネットアラームの生成は、ドアの開錠タイムアウトに関係しています。
施錠時の自動ドアロック	<p>ドア施錠時の自動ドアロックを有効にするかどうかを選択します。 オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オン: ドアマグネットはドアが施錠されていることを検知し、ドアの施錠時間が ドアの開錠タイムアウトの値を超えると、ドアは自動的に施錠されます。 ● オフ: 施錠時の自動ドアロックは無効になっており、ドアの施錠時間は ドアが開いている時間です。
ドアマグネットの状態を確認してから施錠	<p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オン: ドアマグネットの状態は、施錠前にチェックされます。 ● オフ: ドアマグネットの状態は、施錠前にチェックされません。

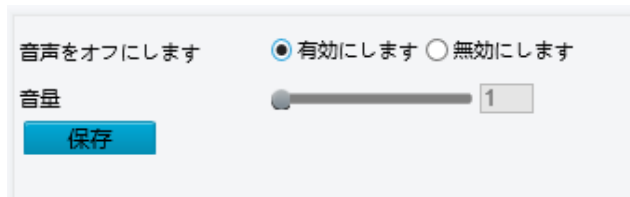
(3) **保存** をクリックして、IO ポートの設定を保存します。

7C. 音量コントロール

本機の音量コントロールタブページでオーディオ情報を設定します。

(1) **セットアップ** > **一般** > **ポートとデバイス** を選択し、**音量調節** タブをクリックします。

図 7-22 オーディオ設定のインターフェース



- (2) 音声をオフ（ミュート）するかどうかを設定します。無効にします、の場合、再生音量を設定します。
- (3) **保存** をクリックして、オーディオ設定を保存します。

7D. 照明

本機は、省エネ設定に対応しています。

- (1) **セットアップ > 一般 > ポートとデバイス** を選択し、**イルミネーション** タブをクリックします。
- (2) 実際の条件に応じて省エネパラメータを設定します。

図 7-23 エネルギー資源の保護の設定インターフェース

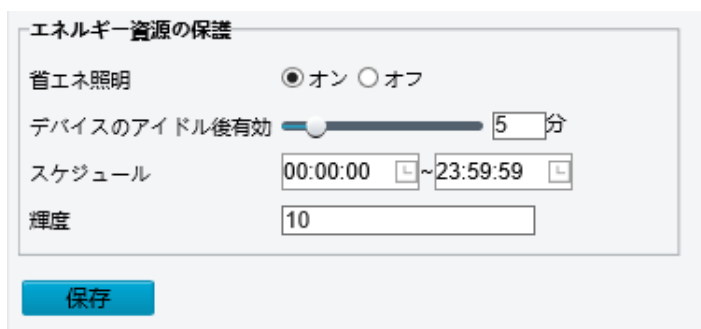


表 7-11 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明	設定
省エネ照明	<ul style="list-style-type: none"> ● オン：本機が事前設定された スケジュール 内で顔を検知すると、すべてのライト（液晶ライト、ディスプレイ画面、ライト補助ランプを含む）がオンになります（現在の環境光の輝度が、デバイスの最小輝度のしきい値に達していない場合のみオン）。事前設定された 本機のアイドル後に有効 内で顔が検知されない場合、ライトは徐々に消灯します（現在の環境光の輝度が、デバイスの最大機輝度のしきい値を超えている場合のみ）。本機が顔を検知したかどうかにかかわらず、ライトは スケジュール 外で安定しています。 ● オフ：本機が顔を検知したかどうかにかかわらず、ライトが点灯します。ライトの省エネは無効になっています。 省エネ照明はデフォルトで無効になっています。	実際のシーンに応じてパラメータを設定します。
デバイスのアイドル後有効	本機が顔を検知しない時間。時間がこの値を超えると、本機のライトは徐々に消灯します。 値の範囲：[1~30]分、デフォルト値：5分	実際のシーンに応じてパラメータを設定します。
スケジュール	省エネ照明をオンに設定すると、本機はスケジュール内で省エネ照明を適用します。スケジュール外の省エネ照明は行いません。 値の範囲は00:00:00~23:59:59で、単位は秒単位で正確に設定できます。 📝 ヒント！ 省エネ照明 がオンに設定されている場合、スケジュールのデフォルト値は[00:00:00~23:59:59]です。省エネ照明がオフに設定されている場合、スケジュールは使用できません。	実際のシーンに応じてパラメータを設定します。

パラメータ	説明	設定
輝度	このパラメータは、ディスプレイ画面がオフのとき、補助ランプの輝度を調整するために使用されます。パラメータの値が大きいほど、明るい補助ランプが点灯し、値が小さいほど暗い補助ランプが点灯します。 値の範囲：[0~200]、デフォルト値：20 0に設定すると、補助ランプが消灯します。 輝度は、表示画面が再びオフになった後にのみ有効になります。	実際のシーンに応じてパラメータを設定します。

(3) **保存** をクリックして、省エネ設定を保存します。

8. デバイス情報

デバイス情報インターフェースでは、本機の場所を設定できます。

- (1) ターミナルインターフェースに **admin** としてログインします。
- (2) **セットアップ** > **一般** > **デバイス情報** を選択し、**デバイス情報の設定** インターフェースに移動します。

図 7-24 デバイス情報設定のインターフェース

表 7-12 パラメータの説明と設定

パラメータ	パラメータの説明と設定
スイッチモード	本機の作業モードを設定します。次のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオインターコムモード：パスワードによるドアの開錠、顔スキャンによるドアの開錠などの機能を備えた標準のアクセスコントロールデバイスです。 共通アクセスコントロールモード：本機は、通話およびパスワードによるドアの開錠機能をサポートしない一般的なアクセスコントロールデバイスです。 実際のアプリケーションシーンに基づいて、パラメータを設定します。
デバイスの位置	この構成はサポートされていません。
Undefined	この構成はサポートされていません。



ヒント!

デバイスタイプを変更すると、デバイスが再起動し、認証モードがデフォルトの設定に戻ります。

9. パーソナライゼーション

9A. 広告モード

本機は広告に対応しています（写真のみ）。設定方法は次のとおりです。

- (1) **セットアップ** > **一般** > **パーソナライゼーション**を選択し、**広告モード**タブをクリックします。
- (2) 次の表を参考に、**広告モード**を設定します。

図 7-25 広告モード設定のインターフェース

広告モード オン オフ

広告画像の再生間隔(s)

待機時間(s)

画像ファイルを読み込みます

注意: 1.インポートするファイルはzip圧縮ファイルである必要があります。圧縮ファイルには、1.jpg 2.jpg 3.jpgの名前が付けられた最大3つのJPG画像が含まれています。
2.画像形式: jpg形式でなければなりません。推奨サイズは、10インチ800 * 1280、7インチ600 * 1024、4インチ480 * 800です。

表 7-13 パラメータの構成

パラメータ	説明と設定
広告モード	<ul style="list-style-type: none">• オン• オフ 実際の条件に基づいて、広告モードを有効にするかどうかを選択します。
広告画像の内部再生	広告画像を再生する間隔を設定します。 値は1秒から3600秒の範囲の整数です。デフォルト値は10秒です。
スタンバイ時間	本機が顔を検知していない継続時間がここで設定された時間に達すると、本機は広告モードに入ります。 値は10秒から3600秒の範囲の整数です。デフォルト値は10秒です。 本機は、顔のスキャンに失敗、またはユーザーが画面をタップすると、広告モードを終了します。
画像ファイルのインポート	ユーザーは広告画像を設定できます。広告画像の条件は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• インポートされるファイルは、ファイル名が 1.jpg、2.jpg、3.jpg で、3 ファイル以下の jpg 画像を含んだ、.zip ファイルである必要があります。• JPG 画像のみに対応しています。推奨サイズ：480×800。

- (3) **保存** をクリックして、**広告モード**の設定を保存します。

9B. カスタムボタン

本機はカスタムボタンをサポートしています。設定方法は次のとおりです。

- (1) **セットアップ** > **一般** > **パーソナライゼーション**を選択し、**カスタムボタン**タブをクリックします。
- (2) アプリケーションシーンに基づいて、ボタンを設定します。
 - **ディスプレイ**：対応するボタンが表示画面上に表示されます。
 - **隠す**：対応するボタンは表示画面上に表示されません。
- (3) **保存** をクリックして、**カスタムボタン**の設定を保存します。

7.3.2 ネットワーク

1. ネットワーク

イーサネットの設定インターフェースについては[イーサネット](#)を参照してください。

2. DNS

この構成はサポートされていません。

3. ポート

この構成はサポートされていません。

4. DDNS

この構成はサポートされていません。

5. P2P

デバイスをクラウドサーバーに追加して、リモート管理を実現します。

www.star4live.com にログインし、QR コードをスキャンしてデバイスを追加します。詳しい操作については、ウェブサイトのオンライン資料を参照してください。



6. Eメール

システムは、設定されたパラメータに従って、キャプチャした画像（スナップショット）をユーザー指定のEメールアドレスに送信できます。

(1) **セットアップ> ネットワーク> Eメール**を選択します。

(2) 下の表を参考にしながら、パラメータを設定します。**保存**をクリックして、設定を保存します。

パラメータ	説明
名前	必要に応じて名前を設定します。
住所	送信者のEメールアドレス。
SMTPサーバー	SMTPを使用してEメールを送信するサーバーのアドレス。例：smtp.163.com。 実際の条件に基づいて、設定します。必要な情報は、ウェブ上の送信者のメールボックスにアクセスするか、Eメールサービスプロバイダーにお問い合わせください。
SMTPポート	TLS/SSLが有効かによって、対応するトランスポートポートを設定します。ポート番号は、ウェブ上の送信者のメールボックスにアクセスするか、Eメールサービスプロバイダーにお問い合わせください。
TLS/SSL	有効な場合、TLSまたはSSLを用いて暗号化されたチャンネルを介してEメールが送信されます。
スナップショット	保留。この構成はサポートされていません。

パラメータ	説明
ト間隔 (秒)	
画像の添付	有効な場合、Eメールにスナップショットが添付されます。
ユーザー名	送信者のEメールアドレス。
パスワード	ログインパスワードは、サードパーティのEメールサービスプロバイダが提供するものです。 ログインパスワードを取得するには、送信者のメールボックスにアクセスし、サービス設定ページでSMTPを有効にしてパスワードを要求します。
名前	受信者が容易に特定できる名前を設定します。
住所	受信者のEメールアドレス。「テスト」をクリックすると直ちに受信者にテストメールを送信します。

7. SNMP

この構成はサポートされていません。

8. 802.1x

この構成はサポートされていません。

7.3.3 画像

1. 画像

1A. シーン

ライブビデオのシーンに応じて適切な画像エフェクトが実現できるように、画像パラメータを設定します。

(1) **セットアップ > 画像 > 画像** とクリックし、**シーン** をクリックします。

図 7-26 シーンの設定インターフェース



(2) シーン名：現在のシーンの名前です。デバイスに、複数のシーンモードがプリセットされています。シーンモードを選択すると、自動的に画像パラメータが切り換わります (必要に応じて画像パラメータが調整できます)。

- 一般：屋外のシーンに推奨されます。
- カスタム：必要に応じてシーンを設定します。

(3) シーンを選択して をクリックすると、そのシーンがデフォルトシーンとして設定されます。

- (4) 自動切換が有効になっている場合、非デフォルトシーンへの切換条件が満足されると、本機は自動的にそのシーンに切り換わります。それ以外の場合は、本機はデフォルトシーン設定で撮影し続けます。自動切換が有効でない場合、本機は現在のシーン設定で撮影し続けます。



ヒント！

- 自動切換が有効になっている（シーンが設定できない）場合、本機は、設定シーン間を切り換えます。有効になっていない場合、デバイスは現在のシーンを撮影し続けます。非デフォルトシーンがトリガーされない場合、デバイスはデフォルトシーン設定で撮影し続けます。
- 複数の非デフォルトシーンがトリガーされると、デバイスは、番号が最も小さいシーンに切り換わります(1 から 5 まで)。

1B. 画像強化



ヒント！

画像強化インターフェースの全パラメータがデフォルト値を使用するので、設定することはできません。

- (1) セットアップ>イメージ>イメージとクリックし、画像強化をクリックします。




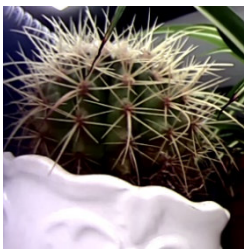
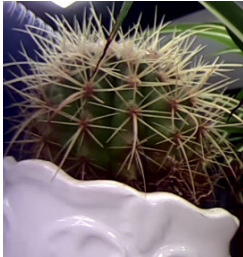



図 7-27 画像強化インターフェース







- (2) スライダーで設定を変更します。数値を直接入力することもできます。次の表に、主なパラメータが説明されています。

表 7-14 パラメータの説明

項目	説明
輝度	<p>画像の明るさを設定します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 低輝度 高輝度 </div>

項目	説明
飽和（彩度）	<p>これは、色に含まれる色彩の濃さです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 低彩度 高彩度 </div>
コントラスト	<p>最も黒いピクセルと最も白いピクセルとの間の差を設定します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 低コントラスト 高コントラスト </div>
シャープネス（鮮明度）	<p>画像中の物体の輪郭のコントラストです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 低鮮明度 高鮮明度 </div>
2Dノイズリダクション	<p>画像のノイズを低減します。この機能によって画像がぼやけることがあります。</p>
3Dノイズリダクション	<p>画像のノイズを低減します。この機能によって動きがぼやけることがあります（被写体によってはゴーストが発生します）。</p>
画像回転	<p>画像の回転。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 正常 垂直方向に反転 </div>

項目	説明
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="571 501 742 528">水平方向に反転</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="922 501 959 528">180</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="595 831 724 857">90°時計回り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="884 831 1038 857">90°反時計回り</p> </div> </div>

(3) このエリアをデフォルト設定に復元するにはデフォルトをクリックします。

1C. 露出



ヒント!

- この機能はモデルによって異なることがあります。詳細については、実際のウェブインターフェースをご覧ください。
- デフォルト設定は「シーン順応型」です。変更する必要がない場合は、デフォルト設定を使用してください。






(1) セットアップ>画像>画像 とクリックし、露出をクリックします。







図 7-28 露光の設定インターフェース

(2) 必要に応じてパラメータを設定します。下表が、露出パラメータの説明になります。

表 7-15 パラメータの説明と設定

項目	説明
露出モード	<p>モードを選択して、希望の露光効果を達成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動: 本機は、環境に基づいて自動的に露光を調整します。 ● カスタム: 必要に応じて露光を設定します。 ● 屋内 50Hz: 本機は、シャッタースピードを制限して縞模様の発生を低減します。 ● 屋内 60Hz: 本機は、シャッタースピードを制限して縞模様の発生を低減します。 ● マニュアル: 本機で、シャッター、ゲイン、絞りを手動で設定して、画質を微調整することができます。 ● 低モーションブラー: 本機は、最小シャッタースピードを制御して、動いている顔写真を撮影した際の動体ブレを低減します。
シャッター	<p>シャッターは、レンズへの入射光を制御します。物体が高速で移動するシーンでは、シャッタースピードを速くします。物体が低速で変化するシーンでは、シャッタースピードを遅くします。</p> <p> ヒント!</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 露出モードをマニュアルまたはシャッター優先に設定して、シャッタースピードを設定することができます。

項目	説明
	<ul style="list-style-type: none"> スローシャッターがオフに設定されていると、シャッタースピードの逆数を、フレームレートよりも大きくする必要があります。
ゲイン	<p>光量条件に応じてデバイスが標準ビデオ信号を出力できるように、画像信号を制御します。</p> <p> ヒント!</p> <p>露出モードをマニュアルまたはゲイン優先に設定した場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
スローシャッター	<p>暗いシーンで画像の明るさが改善されます。</p> <p> ヒント!</p> <p>露出モードがシャッター優先に設定されておらず、Image Stabilizer が無効になっている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
最遅シャッター	<p>露光中は、デバイスのシャッタースピードを最も遅い値に設定します。</p> <p> ヒント!</p> <p>スローシャッターがオンに設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
補正	<p>希望の効果が得られるように、必要に応じて補正値を調整します。</p> <p> ヒント!</p> <p>露出モードがマニュアルに設定されていない場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
測光制御	<p>本機による光量の測定方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心重み平均測光：本機は、主に画像の中心部の光量を測定します。 評価測光：本機は、画像中のカスタマイズされたエリアの光量を測定します。 顔測光：本機は、光量が少ない条件で、顔画面で撮影された顔写真の明るさを制御して、画質を調整します。 スポット測光：これは評価測光と類似していますが、画像の明るさを改善できないという点で異なります。 スマート測光：光量が少ない条件または逆光の条件で、デバイスが、顔画面で撮影された人体や顔の写真の明るさを制御して、画質を調整します。 <p> ヒント!</p> <p>露光モードがマニュアルに設定されていない場合にのみ、このパラメータを設定することができます。デフォルト値は、自動測光です。</p>
顔の輝度	<p>このパラメータは、測光制御が顔測光に設定されている場合にのみ表示されます。</p> <p>顔測光モードで、ライブビューの顔の明るさが適切な範囲内になるように、システムは、顔の輝度とライブビューの顔の明るさの値に基づいて露光を調整します(画像周囲の状態によっては、露光過多や露光不足が発生することがあります)。</p> <p>値の範囲は0から100で、デフォルト値は50です。顔の輝度の値が大きい場合、デバイス上の顔の明るさや顔スナップショット写真が明るいことを示しています。</p>
最小時間(分)	<p>このパラメータは、測光制御が顔測光に設定されている場合にのみ表示されます。</p> <p>前の人物の顔検出が終了してから次の人物の顔が検出できるまで、デバイスの画面の明るさが保持できる最大時間(前の顔に適用される)を指します。人物の顔検出が終了するたびに、タイマーが再起動します。この時間が終了すると、デバイスは、次の人物の顔が検出されるまで、現在の環境の平均輝度に順応しています。</p> <p>値の範囲は0から60で、デフォルト値は5です。</p>
デイ/ナイトモード	<p>デフォルト値の自動を推奨します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動: 本機は、環境光の条件に応じて、最適な画像を出力します。このモードでは、本機

項目	説明
	<p>は、デイモードとナイトモードを自動的に切り換えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デイ：本機は、既存の光を使用して高画質のカラー画像を撮影します。 ● ナイト：本機、既存の光を使用して高画質の白黒画像を撮影します。 <p>入力ブール：本機は、外部光を使用して高画質の画像を撮影します。</p>
デイ/ナイト感度	<p>デイモードとナイトモードを切り替える光のしきい値です。感度の値が大きいほど、光の変化に対する感度が大きくなり、デイモードとナイトモードが簡単に切り替わります。</p> <p> ヒント！</p> <p>デイ/ナイトモードが自動に設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
デイ/ナイト切替	<p>切替条件を満たしてから、本機がデイモードとナイトモードを切り換えるまでの時間を設定します。</p> <p> ヒント！</p> <p>デイ/ナイトモードが自動に設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
WDR	<p>同一画像内で明るいエリアと暗いエリアを区別できるように、WDRを有効にします。</p> <p> ヒント！</p> <p>このパラメータは、露出モードが、自動、カスタム、シャッター優先、屋内 50Hz、または屋内 60Hz に設定され、電子式画像安定化とデフォグが無効になっている場合にのみ表示されます。</p> <p>露光モードがカスタムにも手動にも設定されておらず、Image Stabilizerが無効になっている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
WDR レベル	<p>WDR機能を有効にすると、WDRレベルを調整して画質を改善することができます。</p> <p> ヒント！</p> <p>シーン内で明るいエリアと暗いエリアのコントラストが強い場合、レベル7以上を使用します。コントラストが弱い場合、WDRを無効にするか、レベル1～6を使用するよう推奨されます。</p>
WDR ストライプを制御します	<p>これをオンにすると、デバイスは、光の周波数に応じてスローシャッターの頻度を自動的に調整して、画像中に現れる縞模様を最小限に抑制することができます。</p>
WDR オープン感度	<p>WDR 感度を有効にします。</p> <p> ヒント！</p> <p>このパラメータは、WDRが自動に設定されている場合にのみ表示されます。</p>
WDR クローズ感度	<p>WDR 感度を無効にします。</p> <p> ヒント！</p> <p>このパラメータは、WDRが自動に設定されている場合にのみ表示されます。</p>

(3) デフォルトに復元するにはデフォルトをクリックします。

1D. スマートイルミネーション

- (1) **セットアップ>イメージ>イメージ**とクリックし、スマートイルミネーションをクリックします。

図 7-29 スマートイルミネーションインターフェース



- (2) 実際のシーンに基づいて、下表を参照して、スマートイルミネーションパラメータを設定してください。

項目	説明
スマートイルミネーション	実際の条件に基づいて、スマート照明を有効にするかどうかを選択します。
照明タイプ	現在、 白色光 にのみ設定できます。
制御モード	<ul style="list-style-type: none"> マニュアル：スマート照明を有効にすると、ライト補助ランプが自動的に照明を制御します。 手動常時オン：スマート照明を有効にすると、ライト補助ランプが常に照明を補助します。
照明レベル	IR光の強度を設定します。値が大きいくほど、光の強度が強くなります。0では、IR光が消えます。

- (3) デフォルトに復元するには**デフォルト**をクリックします。

1E. ホワイトバランス



ホワイトバランスとは、人間の目に最適な画像を出力するように、異なる色温度で画像に投影される不自然な色を相殺するプロセスです。

- (1) **セットアップ>画像>画像**とクリックし、ホワイトバランスをクリックします。

図 7-30 ホワイトバランスの設定インターフェース



- (2) 必要に応じてホワイトバランスモードを選択します。次の表に、主なパラメータが説明されています。

項目	説明
ホワイトバランス	<p>画像の赤または青のオフセットを調整します：</p> <ul style="list-style-type: none"> Auto/Auto 2：デバイスは、光の状態に応じて、自動的に、赤と青のオフセットを調整します(色が青くなりやすい)。Auto モードで、画像がまだ不自然に赤っぽかったり青っぽい場合は、Auto2 を試してみてください。 微調整/微調整(ナイトモードに基づく)：手で赤や青のオフセットが調整できます。 ナトリウムランプ：カメラは、照明条件(色が赤みがる)に応じて、自動的に赤や青のオフセットを調整します。 屋外：色温度範囲が比較的広い屋外環境に適しています。 ロック状態：現在の色温度を変更せずにロックします。
レッド(赤)のオフセット	<p>手で赤のオフセットが調整できます。</p> <p> ヒント！</p> <p>ホワイトバランスが微調整に設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>
ブルー(青)のオフセット	<p>手で青のオフセットが調整できます。</p> <p> ヒント！</p> <p>ホワイトバランスが微調整に設定されている場合にのみ、このパラメータを設定することができます。</p>

(3) デフォルトに復元するには**デフォルト**をクリックします。P51

1F. アドバンスド(高度)

デフォグ機能を使用して、霧やもやの条件下で撮影した画像の明瞭性を調整します。

(1) **セットアップ>画像>画像**とクリックし、**アドバンスド**をクリックします。



ヒント！

- このパラメータは、WDR をオフにした場合にのみ設定することができます。
- デフォグは、一部のカメラモデルでのみサポートされます。**デフォグをオン**に設定したときに、デフォグ強度レベル 6~9 でデフォグが有効になり、デフォグ強度を 5 から 6 に設定すると画像がカラーから白黒に変化します。**デフォグ**を自動に設定しデフォグ強度レベルが 6~9 の間である場合は、霧が薄いときには画像は自動的に白黒に変化せず、霧が濃くなるとカメラは自動的にデフォグに切り換わります。

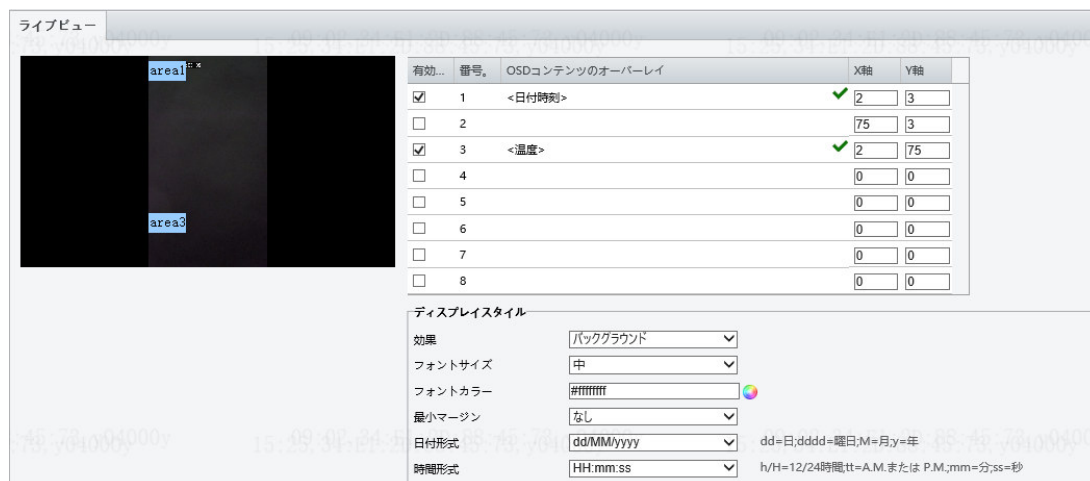
(2) デフォグ機能を有効にし、シーンのレベルを選択します。レベル 9 では最大のデフォグ効果が得られ、レベル 1 では最小となります。

(3) デフォルトに復元するには**デフォルト**をクリックします。

2. OSD

オンスクリーンディスプレイ（OSD）とは、時刻などのカスタマイズされたコンテンツを含む、ビデオ画像に表示される文字のことです。

(1) **セットアップ> 画像> OSD** とクリックします。



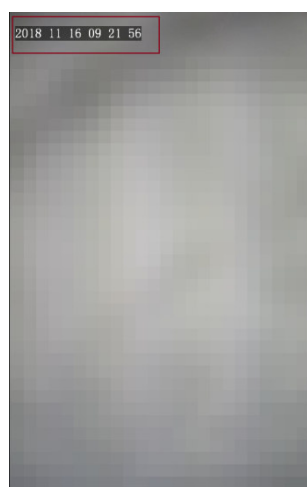
(2) OSD の位置とコンテンツを選択します。

- 位置：プレビュー画面で、エリアのボックスをクリックします。カーソルが可動状態アイコンに変化したら、マウスボタンを押しながらドラッグして、ポジションを選択します。
- オーバーレイ OSD コンテンツ：ドロップダウンリストに日付時刻、Preset、シリアルポート、その他が表示されます。カスタムを選択して、希望のコンテンツを入力します。
- 位置と OSD コンテンツを設定すると、ステータス (✓) 列に✓の記号が表示されます。これは OSD の設定が成功したことを示しています。各エリアに複数行のコンテンツを設定することができます。表示の順番は^とvで調整できます。

(3) 設定を完了すると、設定が成功したことを示すメッセージが表示されます。

1つのエリアで OSD をキャンセルするには、OSD コンテンツのオーバーレイ列で OSD コンテンツをクリアするか、位置列で None を選択します。

下に時間 OSD の一例が挙げてあります。



ヒント！

現在、本機の表示画面上には、OSD 設定が表示されていません。

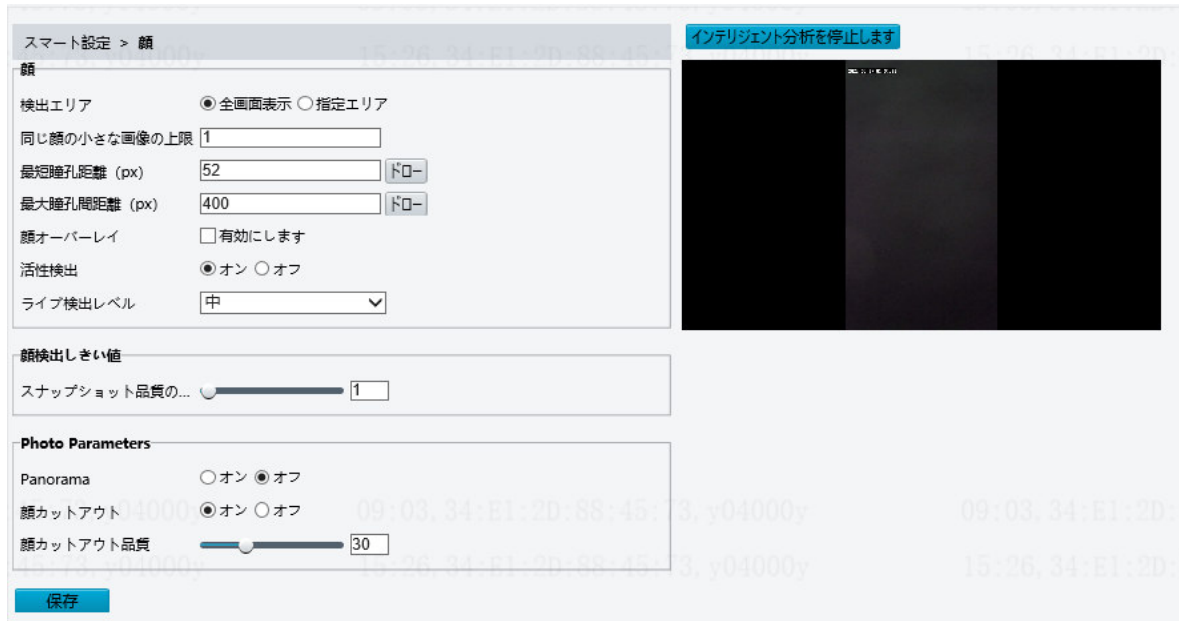
7.3.4 インテリジェント

1. 顔

顔のスナップショットの設定には、顔検知、顔検知のしきい値、オブジェクトサイズ（ピクセル）によるフィルター、その他のパラメータの設定が含まれます。適切なパラメータ設定は、顔の検知と照合に役立ちます。

(1) セットアップ>インテリジェント>顔を選択し、顔タブをクリックします。

図 7-31 顔のスナップショット設定のインターフェース



(2) 下の表を参考にしながら、パラメータを設定します。

システムのデフォルトでは、インテリジェント分析が有効になっています。インターフェースのパラメータを変更するには、インテリジェント分析を停止します、をクリックして、インテリジェント分析を停止してから、パラメータを設定します。

表 7-16 パラメータの説明と設定

ペイン	パラメータ	説明と設定
顔	検知エリア	<ul style="list-style-type: none"> ● 全画面表示をクリックすると、フルスクリーンで顔写真を検知します。 ● 指定エリアをクリックすると、指定された領域で顔写真を検知します。
	同じ顔の小さな画像の上限	この構成はサポートされていません。
	最短/最大瞳孔間距離 (px) 瞳孔間距離 (px)	インターフェースの右側にあるライブビューでマウスを使用して、瞳孔間距離を描画できます。瞳孔間距離のピクセルの数量がプリセットされた値にある場合、写真が収集されます。値の範囲は20ピクセルから650ピクセルです。
	顔オーバーレイ	この構成はサポートされていません。
	活性検知	オン をクリックして、活性検知機能を有効にします。活性検知は、動画や写真の偽造を効率的に防止できます。デフォルトでは有効になっています。
	ライブ (活性) 検知レベル	次の3つのライブ検知レベルがあります。 高 、 中 および 低 。ライブ (活性) 検知レベルが高いほど、非実在の人物を検知できる精度が高いことを示します。デフォルト値は 低 です。

ペイン	パラメータ	説明と設定
顔検知しきい値	スナップショット品質のしきい値	<p>顔のスナップショットの1:N照合のしきい値。</p> <p>顔照合の類似度が事前設定された類似度のしきい値に達すると、照合に成功します。</p> <p>値の範囲：[1~100]、デフォルト値：1</p> <p>注意：マスク検知を有効にした後、スナップショット品質のしきい値を1に設定する必要があります。</p>
写真パラメータ (Photo Parameters)		<ul style="list-style-type: none"> ● Panorama がオンに設定されている場合、本機はスナップショットをパノラマ写真で保存します。Panorama がオフに設定されている場合、ターミナルは写真をパノラマでは保存しません。デフォルトではオンになっています。 ● 顔カットアウト がオンに設定されている場合、スナップショット写真から顔の写真をカットアウトします。顔カットアウト がオフに設定されている場合、スナップショット写真から顔の写真をカットアウトしません。デフォルトではオンになっています。 ● スナップショット品質：スナップショット写真の品質はこの値が決定します。値が大きいほどスナップショット写真は鮮明になり、値が小さいほど不鮮明になります。 ● 顔カットアウト品質：このパラメータは、顔カットアウト がオンに設定されている場合にのみ表示されます。 <p>顔カットアウトの品質はこの値が決定します。値が大きいほど顔カットアウトは鮮明になり、値が小さいほど不鮮明になります。</p>

(3) **保存** をクリックして、設定を保存します。

(4) **インテリジェント分析を開始します**、をクリックして、インテリジェント分析を有効にします。

2. チェックテンプレート

チェックテンプレートは、時間帯による認証モードをサポートし、1日あたり最大8つまで時間帯を設定できます（時間帯は重複できません）。認証モードは、日ごとに個別に設定することも、すべての日にコピーすることもできます。

図 7-32 チェックテンプレート

- チェックテンプレートの追加



ヒント！

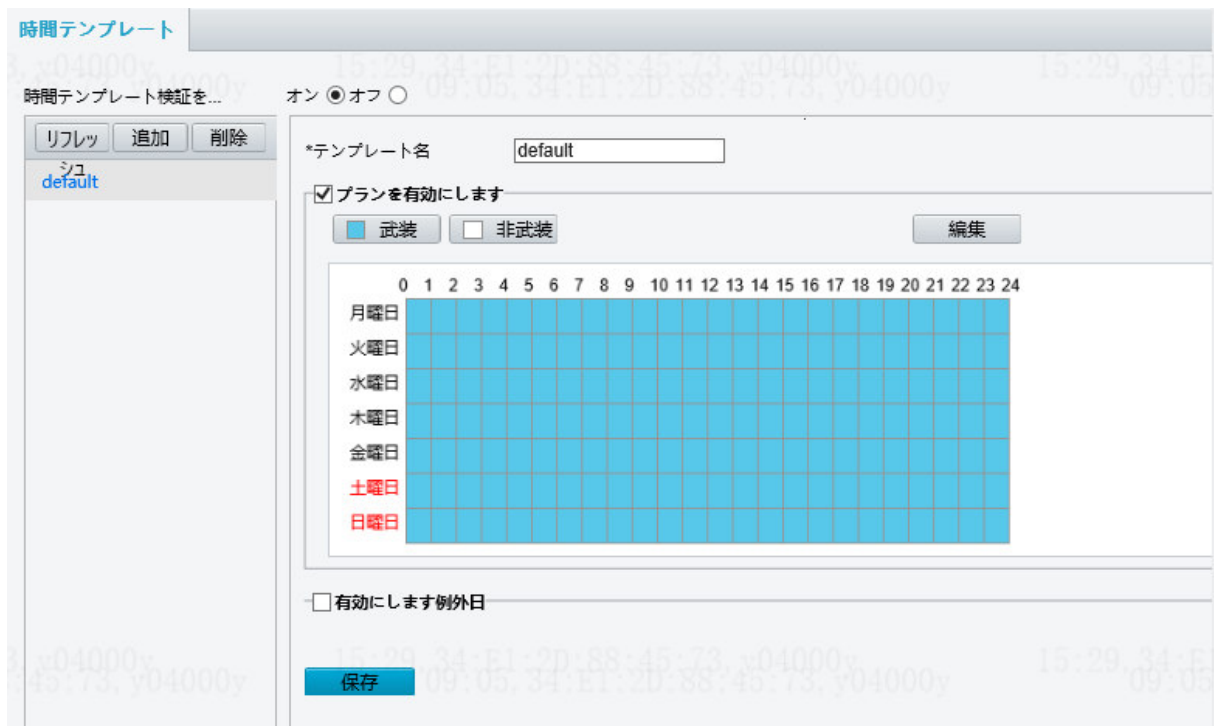
チェックテンプレートは最大 16 個まで設定できます。

- (1) **セットアップ>インテリジェント>チェックテンプレート**を選択し、**追加**をクリックします。
- (2) インターフェースの右ペインでパラメータを設定します。
 - **テンプレート名**：チェックテンプレートの名前を入力します。
 - **時間帯と認証モード**
 実際の条件に基づいて、1週間の時間帯ごとに認証モードを設定します。利用可能な認証モードは4つあります。
 - ◆ **カード**：本機は、取得したICカード番号とライブラリ内のカード番号を1：N照合します。
 - ◆ **顔**：本機は、ライブラリ内の顔のスナップ写真と顔写真を1：N照合します。
 - ◆ **カード+顔**：本機は、取得したICカード番号とライブラリのカード番号を1：N照合してから、カード番号に対応する顔写真とスナップショット写真を1：1照合します。
 - ◆ **パスワード**：ユーザーはドアを開けるために、ターミナルで正しい「ユニット番号#部屋番号#部屋パスワード」を入力できます。
 認証モードは、人がターミナルを通過する方法を設定するために使用されます。合計で4つの認証モードを使用できます。ユーザーは、実際の条件に基づいて、少なくとも1つ（最大3つ）の認証モードを選択できます。複数の認証モードが採用されている場合、認証モードは「または」関係にあります。つまり、いずれかのモードで認証に成功するとドアが開きます。
 - **時間帯と認証モードのコピー**
 - ◆ 月曜日の時間帯と認証モードを設定した後、火曜日から日曜日でも同じ時間帯と認証モードが必要な場合、**全てを選択**します、の前にあるチェックボックスをオンにして、その設定をすべての日にコピーします。
 - ◆ 同じ時間範囲と認証モードが数日間だけ必要な場合、特定の日を選択してコピーをクリックします。
- (3) **保存**をクリックして、追加したチェックテンプレートを保存します。
 - **チェックテンプレートの変更**
 既存のチェックテンプレートを変更するには、テンプレートを選択し、必要なパラメータを変更し、**保存**をクリックしてチェックテンプレートの変更を保存します。
 - **チェックテンプレートの削除**
- (1) **セットアップ>インテリジェント>チェックテンプレート**を選択し、削除するチェックテンプレートを選択します。
- (2) **削除**をクリックします。
- (3) 確認ボックスが表示されたら、**OK**をクリックして削除します。

3. 時間テンプレート

時間テンプレートを設定して、人が出入りする時間を制限できます。時間テンプレート（有効時間帯）外で認証された場合、「指定しない時間」が通知されます。時間テンプレートは週ごとに設定でき、1日につき最大8つまで有効時間帯を設定できます。例外日は個別に設定できますが、日ごとにのみ設定できます。

図 7-33 時間テンプレート



● 時間テンプレートの追加

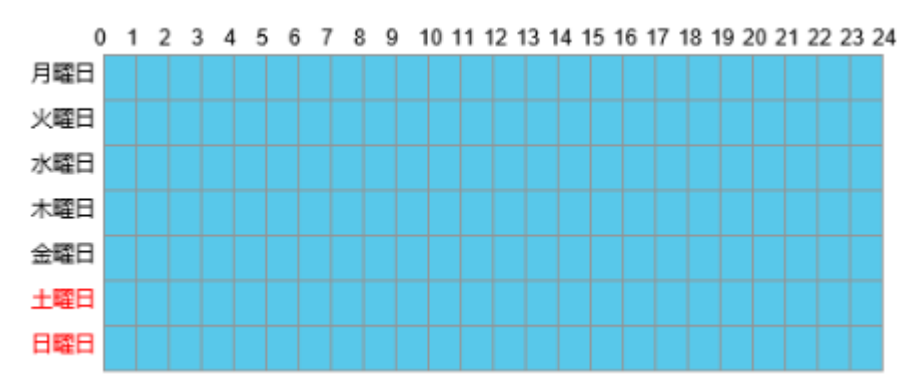


ヒント！

最大 16 個までタイムテンプレートを設定できます。

- (1) セットアップ>インテリジェント>時間テンプレートを選択し、追加をクリックします。
- (2) インターフェースの右ペインでパラメータを設定します。
 - テンプレート名：時間テンプレートの名前を入力します。条件：1～20 文字（大文字と小文字の英字、数字、ハイフン、アンダーバーを使用できます）。
 - プランの有効化：チェックボックスを選択し、タイムプランを有効にします。
 - 有効時間帯を設定します。
 - ◆ 武装 非武装 をクリックし、タイムテーブル上でマウスをドラッグして、有効時間帯を設定します。1 時間単位で設定できます。

図 7-34 タイムテーブル上でマウスをドラッグして、有効時間帯を設定する



- ◆ また、**編集** をクリックして**編集インターフェース**に移動し、1週間の有効時間帯を設定できます。

1日につき最大8つまで有効時間帯を設定できます。時間帯は重複できません。認証成功のプロンプトは、事前設定された有効時間帯で認証が成功した場合にのみ表示されます。有効時間帯の範囲外で認証に成功した場合、「指定しない時間」というプロンプトが表示されます。

1日の有効時間帯を設定した後、その有効時間帯を他の日にコピーできます。

図 7-35 編集のインターフェース

番号	開始時間	終了時間
1	00:00:00	23:59:59
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日 日曜日

コピー先 すべてを選択します

月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日 日曜日

- **例外日を有効にする**：チェックボックスを選択し、例外日を有効にします。
- 例外日を設定します。

例外日は、1日の時間帯ではなく、日ごとに設定する必要があります。

例外日は追加、削除、変更できます。例外日に認証に成功した場合、「指定しない時間」というプロンプトが表示されます。

図 7-36 例外日を有効にする

有効にします例外日

番号	日付	時間間隔	操作
1	2023-05-17	00:00:00--23:59:59	

- (3) **保存** をクリックして、追加したタイムテンプレートを保存します。

- **タイムテンプレートの変更**

既存のタイムテンプレートを変更するには、それを選択し、必要なパラメータを変更し、**Save** をクリックしてタイムテンプレートの変更を保存します。

- **タイムテンプレートの削除**

- (1) **セットアップ>インテリジェント>時間テンプレート**を選択し、削除するタイムテンプレートを選択します。

- (2) **削除** をクリックします。

- (3) 確認ボックスが表示されたら、**OK** をクリックして削除します。



ヒント！

人がタイムテンプレートにバインドされている場合、タイムテンプレートを削除する前に、その人をアンバインドする必要があります。そうしないと、削除する際に、最初にアンバインドしない場合、削除に失敗することを示すプロンプトが表示されます。

4. 顔ライブラリ

セットアップ>インテリジェント>顔ライブラリを選択します。顔ライブラリのインターフェースで、顔ライブラリを追加したり、顔ライブラリにユーザーを追加したりできます。

図 7-37 顔ライブラリのインターフェース



4B. 顔ライブラリの管理

- 顔ライブラリの追加



ヒント！

顔ライブラリは最大 16 個まで設定できます。

- 従業員ライブラリリストの上にある追加をクリックします。
- 表示された顔ライブラリを追加します。インターフェースでは、次の表を参考に、顔ライブラリ情報を設定します。

図 7-38 顔ライブラリの追加のインターフェース

顔ライブラリを追加します ✕

顔ライブラリタイプ ▼

顔ライブラリ名

チェックテンプレート ▼

1: N一致しきい値

成功リンケージ設定を確認します

オープンドア 音声プロンプト HMIプロンプト ウィーガンド出力

失敗リンケージ設定を確認します

音声プロンプト HMIプロンプト

OK キャンセル

表 7-17 パラメータの構成

パラメータ	説明と設定
顔ライブラリのタイプ	<p>実際の条件に基づいて、パラメータを以下のオプションのいずれかに設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 従業員ライブラリ 訪問者ライブラリ
顔ライブラリの名前	ライブラリの名前を入力します。
チェックテンプレート	ドロップダウンリストからチェックテンプレートを選択します。チェックテンプレートは、 チェックテンプレート インターフェースで追加できます。
1:N照合のしきい値	1:N照合は顔認証で使われます。照合の類似度がここで設定したしきい値に達すると、認証に成功します。
成功リンケージ構成の確認	<p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドアを開錠：認証に成功すると、ドア開錠信号が送信されて、ドア開錠がトリガーされます。 音声プロンプト：認証に成功すると、音声プロンプトが再生されます。 HMI プロンプト：認証に成功すると、表示画面上にプロンプトが表示されます。 ウィーガンド出力：認証に成功すると、データはウィーガンドインターフェースを介して出力されます。
失敗リンケージ構成の確認	<p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声プロンプト：認証に失敗すると、音声プロンプトが再生されます。 HMI プロンプト：認証に失敗すると、表示画面上にプロンプトが表示されます。

- 顔ライブラリの変更
 - 必要な顔ライブラリを選択し、修正をクリックします。
 - 表示された顔ライブラリの編集インターフェースでは、[顔ライブラリの管理](#)を参考にしながら、パラメータを変更します。

図 7-39 顔ライブラリの編集のインターフェース

- OK をクリックして、変更を保存します。

- 顔ライブラリの削除
 - (1) 必要な顔ライブラリを選択して、削除をクリックします。
 - (2) 確認ボックスが表示されたら、OK をクリックして顔ライブラリを削除します。
顔ライブラリを削除すると、顔ライブラリ内のユーザーも削除されます。
- 4C. 従業員情報の管理
 - 従業員の追加

従業員を1人ずつ追加するか、一括でインポートできます。

 - 従業員の追加
 - (1) セットアップ>インテリジェント>顔ライブラリを選択し、追加する従業員の顔ライブラリを選択します。
 - (2) 従業員リストバーにある、追加をクリックします。
 - (3) 表示された顔情報の追加のインターフェースでは、次の表を参考に、基本情報を設定します。

図 7-40 顔情報の追加のインターフェース

表 7-18 パラメータの構成

ペイン	パラメータ	説明と設定
基本情報	番号	入力必須です。 従業員の番号を入力します。 条件：1～15文字（大文字と小文字の英字、数字、ハイフン、アンダーバーを使用できます）。
	名前	入力必須です。 従業員の名前を入力します。

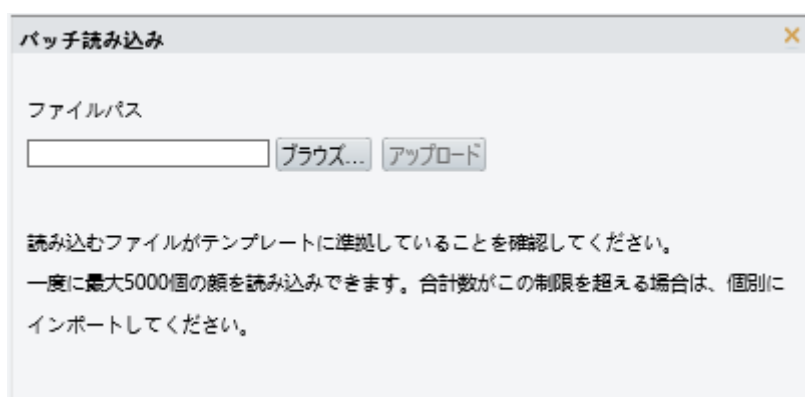
ペイン	パラメータ	説明と設定
	カードタイプ1/カード番号1 カードタイプ2/カード番号2	カードタイプを選択し、カード番号を入力します。 カードタイプのオプションには、ICカード、IDカード、なしがあります。
	備考	備考を入力します。
写真	/	ローカルアップロード をクリックします。表示されたインターフェースで、アップロードするローカルの顔写真を選択します。 写真の条件：サイズが10～512KBのjpg画像のみサポートしています。
時間テンプレート	有効時間	タイムテンプレートを選択し、タイムテンプレートの有効時間と有効期限を設定します。 実際の状況に基づいて、タイムテンプレートの前にあるチェックボックスをオンにします。 注意！
	有効期限	
	時間テンプレート	<ul style="list-style-type: none"> 複数のタイムテンプレートがバインドされている場合、認証中にタイムテンプレートの結合が行われます。 バインドされたタイムテンプレートが有効期限内にない場合、認証に成功すると、「指定しない時間」というプロンプトが表示されません。

(4) **OK** をクリックして、追加を保存します。

○ 従業員情報の一括インポート

- (1) **セットアップ>インテリジェント>顔ライブラリ**を選択し、追加する従業員の顔ライブラリを選択します。
- (2) **テンプレートを書き出します**をクリックして、インポート用テンプレートをローカルデバイスにダウンロードします。
- (3) テンプレートを解凍します。インポートテーブルで、条件に従って情報を入力します。
- (4) **バッチ読み込み**をクリックして、インポートテーブルをアップロードします。

図 7-41 一括インポート



個人情報のインポートに失敗した場合、説明欄の失敗の原因を確認し、情報を修正してから、個人情報を再度インポートしてください。

● 従業員情報の変更

- (1) 情報を変更する必要がある従業員の左上隅にあるチェックボックスを選択します。
- (2) 下図のように、編集ボタンをクリックします。

図 7-42 編集のインターフェース



- (3) 表示された編集インターフェースでは、[従業員情報の管理](#)を参考に、基本情報を修正します。
- (4) **OK** をクリックして、変更を保存します。

- 従業員の削除

従業員を1人ずつ削除するか、一括で削除できます。

- 従業員の削除

- (1) 削除する従業員の左上にあるチェックボックスをオンにします。
- (2) 下図のように、**削除**ボタンをクリックします。

図 7-43 削除インターフェース



- (3) 削除確認ボックスが表示されたら、**OK** をクリックして削除を完了します。
- すべての従業員の削除
 - (1) **すべてを選択します**、の前にあるチェックボックスをオンにします。

図 7-44 すべての従業員を選択



(2) **削除** または  をクリックします。

(3) 確認ボックスが表示されたら、**OK** をクリックして削除を完了します。

- 従業員の検索

従業員情報は、番号または名前で検索できます。

図 7-45 検索ボックス



5. 詳細設定

セットアップ>インテリジェント>詳細設定を選択します。

下の表を参考にしながら、パラメータを設定します。

図 7-46 詳細設定のインターフェース

The screenshot shows a web-based configuration interface for door opening modes. It is divided into several sections:

- ドア開錠モード**: Radio buttons for 認証 (selected), 顔認証, and リモート.
- 2名連続認証モード**: Radio buttons for オフ (selected) and オン.
- QRコードプロトコル**: Radio buttons for プライベート and サードパーティー (selected).
- 通話モード**: A dropdown menu set to コミュニティコール.
- ストレージの設定を記録します**: A section for NVR settings including port number (80), storage type (NVRストレージ), IP address (0.0.0.0), username (admin), password (masked), and backup options.
- 属性ルールの設定**: A section for safety rules, including a checked '安全ヘルメット' option and a radio button for '認証が失敗し、ドアを開...' set to オフ.
- 温度測定**: A section for temperature measurement settings, including a checked '温度測定' option, measurement target (額/手首), units (摂氏°C), range (35.5-42.0), alarm threshold (37.3), and alarm sound (アラーム音1).
- アラーム出力設定**: Radio buttons for high temperature alarm, mask not worn alarm, blacklist alarm, and authentication failure alarm, all currently set to オフ.

A '保存' (Save) button is located at the bottom left of the interface.

表 7-19 パラメータの説明と設定

項目	説明
ドアの開錠モード	<ul style="list-style-type: none"> 認証：ドア開錠モードが、認証に設定された後、ターミナルは、従業員がチェックテンプレートで認証に合格した後のみドアの開錠信号を生成します。 顔：ドア開錠モードが、顔認証に設定された後、本機は、顔のスナップショット写真を検知すると、ドアの開錠信号を生成します。ホワイトリストライブラリが設定されている場合、ホワイトリストに登録された従業員に対して顔照合が行われ、成功のプロンプトが表示されます。ホワイトリストに登録されていない従業員の顔をスキャンしても、表示画面上上にプロンプトは表示されません。

項目		説明
		<ul style="list-style-type: none"> リモート： 実際のアプリケーションシーンに基づいて、パラメータを設定します。
QRコードプロトコル		<ul style="list-style-type: none"> プライベート プライベートに設定すると、本機はQRコードに関するデータをローカルで分析します（このプロトコルは、カメラまたはQRコードスキャナーを使用して収集する場合に適用されます）。 サードパーティ この構成はサポートされていません。
通話モード		この構成はサポートされていません。
レコードアップロード設定	レポートタイプ	<ul style="list-style-type: none"> すべてアップロード：レコードをすべてアップロードします。 認証に成功したレコードをアップロード：認証が成功したレコードのみがアップロードされます。
ストレージの設定を記録します	バックアップストレージ	<p>オプションはオンとオフです。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。NVR設定のデフォルト値はオフです。</p> <p>オフをクリックすると、ターミナルはローカルメモリーカードに録画を記録します。</p> <p>オプションを切り替えると、ターミナルはローカルストレージをクリアして再起動します。</p>
	録画のメンテナンス	録画を修復するには バックアップ記録修復 をクリックします。
属性ルールの設定	安全ヘルメット	<p>検知に失敗した場合、ドアを開錠する</p> <p>オプションはオンとオフです。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値はオフです。</p> <p>オンをクリックした後、本機が安全ヘルメットを着用していないことを検知すると、表示画面上上にプロンプトが表示され、音声プロンプト（安全ヘルメットを着用してください）が再生されますが、ドアの開錠には影響しません。</p> <p>オフをクリックした後、本機が安全ヘルメットを着用していないことを検知すると、表示画面上上にプロンプトが表示され、音声プロンプト（安全ヘルメットを着用してください）が再生され、ドアは開きません。</p>
	マスク	<p>検知に失敗した場合、ドアを開錠する</p> <p>オプションはオンとオフです。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値はオフです。</p> <p>オンをクリックした後、本機がマスクを着用していないことを検知すると、表示画面上上にプロンプトが表示され、音声プロンプト（マスクを着用してください）が再生されますが、ドアの開錠には影響しません。</p> <p>オフをクリックした後、本機がマスクを着用していないことを検知すると、表示画面上上にプロンプトが表示され、音声プロンプト（マスクを着用してください）が再生され、ドアは開きません。</p>
	温度測定	<p>温度測定</p> <ul style="list-style-type: none"> 額の温度を測定：額の温度が測定されます。 手首の温度を測定：手首の温度が測定されます。 額と手首の温度を測定：ターミナルは、額の温度または手首の温度を測定できません。 <p>設定する必要はありません。ターミナルがデジタル検知モジュールに接続されている場合、温度測定モードに自動的に一致します。</p>
	認証に失敗、ド	オプションは オン と オフ です。実際の条件に応じてパラメータを

項目		説明
	アを開錠	設定してください。デフォルト値は オフ です。 オンをクリックした後、デジタル検知モジュールが事前設定された温度アラームのしきい値を温度が超えたことを検知すると、表示画面上にプロンプトが表示され、音声プロンプト（異常な温度）が再生されますが、ドアの開錠には影響しません。 オフをクリックした後、デジタル検知モジュールが温度が事前設定された温度アラームのしきい値を超えたことを検知すると、表示画面上にプロンプトが表示され、音声プロンプト（マスクを着けてください）が再生され、ドアは開きません。
	温度単位	オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • °C • °F 実際のシーンに応じてパラメータを設定します。
	温度管理範囲	値の範囲：[30~45]、デフォルトの範囲：[35.5~42] 実際のアプリケーションシーンに基づいて、範囲を設定します。
	温度アラームしきい値	デジタル検知モジュールは、ここで設定したしきい値より高い温度を検知した場合、表示画面上に「異常な温度」の警告が表示され、警告音が鳴ります。 値の範囲：[30~45]、デフォルト値：37.3
	温度アラート	オプションは オン と オフ です。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値は オフ です。 温度アラートをオンにした後、温度が温度アラートのしきい値と温度アラームのしきい値の範囲内にある場合、高温アラームが表示され、再検知しなければならないことを知らせます。
	温度アラートオフセット	温度アラートのしきい値 = 温度アラームのしきい値 - 温度アラートオフセット。
	アラーム音	アラーム音の種別をリストから選択します。
温度測定タイムアウトの方針		オプションは オン と オフ です。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値は オン です。 この機能をオンにした場合、顔をスキャンしてそれがライブビューに残っていても、10秒間温度が計測されない場合、表示画面上と警告音がプロンプトして温度計測がタイムアウトします。
アラーム出力設定	高温アラーム	オプションは オン と オフ です。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値は オフ です。 高温アラームをオンにした後、デジタル検知モジュールが高温を検知すると、ターミナルは高温アラームを出力します。
	マスク未着用アラーム	オプションは オン と オフ です。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値は オフ です。 マスク未着用アラームをオンにした後、マスクを着用していない人を検知すると、ターミナルはマスク未着用アラームを出力します。
	ブラックリストアラーム	オプションは オン と オフ です。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値は オフ です。 ブラックリストアラームをオンにした後、ブラックリストに載っている人が検知されると、ターミナルはブラックリストアラームを出力します。
	認証失敗アラーム	オプションは オン と オフ です。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値は オフ です。 認証失敗アラームをオンにした後、顔認証とカード認証に失敗す

項目	説明
	ると、ターミナルは、認証失敗アラームを出力します。

6. 認証結果の表示

認証結果表示インターフェースを使用すると、顔認証に成功した後、従業員の登録済みの写真と名前を本機の表示画面上に表示するかどうかを設定できます。

- (1) セットアップ>インテリジェント>認証結果表示を選択し、認証結果表示タブをクリックします。

図 7-47 認証結果の表示のインターフェース

- (2) 次の表を参考に、認証結果の表示を設定します。

表 7-20 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
顔認証の結果を表示します	写真 <ul style="list-style-type: none"> 写真：本機は、顔認証に成功すると、登録されている人物の写真を表示します。 スナップショット:本機は、顔認証に成功すると、キャプチャした人物の写真を表示します。 非表示：本機は、顔認証に成功すると、登録されている人物の写真を表示されません。 <p>実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。</p>
	名前 <ul style="list-style-type: none"> デフォルト：本機は、顔認証に成功すると、登録されている人物の名前を表示します。 暗号表示：本機は、顔認証に成功すると、登録されている人物の写真を暗号表示します。 カスタム：顔認証に成功すると、本機は、従業員の名前ではなく、ここで定義した情報を表示します。 <p>カスタムボックスには、0~10文字の文字列を入力できます。</p> <p>実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。</p>
	拡張情報 <ul style="list-style-type: none"> 時刻の表示：本機は現在のシステム時刻を表示します。 備考の表示：本機は、顔認証に成功すると、登録されている人物の備考を表示します。 非表示：本機は、顔認証に成功すると、時間も登録されている人物の備考も表示しません。
認証結果メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> デフォルト：顔認証に成功すると、本機に「特定に成功しまし

パラメータ	説明と設定
	<p>た」と表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> カスタム：顔認証に成功すると、本機に「認証に成功しました」と表示されます。 <p>実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。</p>
温度測定人数カウント	<ul style="list-style-type: none"> 表示：本機は、温度を測った人数と平熱の人数の合計を表示します。 非表示：本機は、温度を測った人数と平熱の人数の合計を表示しません。 <p>実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。</p>
IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"> 表示：本機は、本機の IP アドレスを表示します。 非表示：本機は、本機の IP アドレスを表示しません。 <p>実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。</p>
温度ガイド写真	<ul style="list-style-type: none"> 表示：温度ガイド機能が有効な場合、本機は手首の温度測定をガイドします。 非表示：温度ガイド機能が有効な場合、本機は手首の温度測定をガイドしません。 <p>実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。</p>

(3) **保存** をクリックして、設定を保存します。

7.3.5 イベント

アラームの作動を設定して、アラームレポートを実行できます。他のデバイスのトリガーアクションを設定することで、アラームは 1 種類以上のアクションをトリガーできるため、ユーザーはアラームとそれに対応するアクションをその時間内で処理できます。

アラームの作動には、火災アラーム、分解防止アラーム、ドアマグネットアラームが含まれます。

1. 火災アラーム

本機が火災警報器に接続している場合、火災アラームが発生すると、ターミナルは火災アラームレコードを生成します。

(1) **セットアップ>イベント>イベント** を選択し、**火災アラーム** をクリックします。

図 7-48 火災アラーム設定のインターフェース

Alarm Name: 1

Alarm ID: [Blank]

Alarm Type: N.O.

Alarm Input: オン オフ

トリガーアクション

スナップショット オープンドア

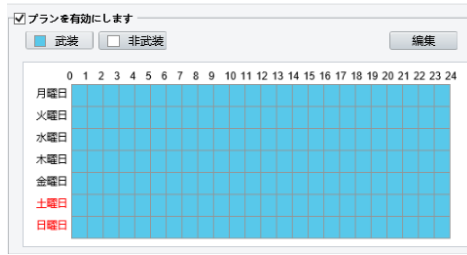
プランを有効にします

武装 非武装 編集

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月曜日	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
火曜日	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
水曜日	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
木曜日	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
金曜日	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
土曜日	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
日曜日	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

保存

- (2) 火災アラーム情報を設定します。
 - a. アラームを選択し、アラーム名を設定します。
 - b. サードパーティアラーム入力デバイスのタイプに応じて、**N.O.**または**N.C.**を選択します。たとえば、サードパーティアラーム入力デバイスがノーマルオープンの場合、ここで**N.O.**を選択します。すると、カメラは、サードパーティアラーム入力デバイスからアラームを受信できます。
 - c. アラーム入力を有効にするかどうかを選択します。**Alarm Input**が**オン**に設定されている場合、ターミナルは火災警報器からアラームを受信します。**オフ**に設定されている場合、ターミナルは火災警報器からのアラームを受信しません。
- (3) 火災アラームに関連付けるアクションを設定します。
 火災アラームは、ターミナルのスナップショットとドアの開錠動作に関連付けることができます。実際のシーンに基づいて、2つの機能を有効にするかどうかを選択します。
- (4) 作動スケジュールを有効にするかどうかを設定します。
プランを有効にします、チェックボックスをオンにし、アラームの開始時刻と終了時刻を設定します（編集をクリックします）。時間帯は重複できません。デバイスは、事前設定された有効な時間帯のみアラーム信号を出力します。
 日付のオプションには月曜日から日曜日が含まれ、各日付の時刻は4つの時間帯を使用して定義されます。
 1日の予定時刻を設定した後、コピーをクリックしてからコピー先の曜日ををクリックして、予定時刻を他の日にコピーできます。



マウスを使用して作動時間を記入

作動時刻を設定するためのテーブルの編集

(5) **保存**をクリックします。

2. いたずらアラーム

本機にはいたずら防止ボタンがあり、いたずらアラームをターミナルに入力できます。

(1) **セットアップ> イベント> イベント**を選択し、**いたずらアラーム**をクリックします。

図 7-49 いたずらアラーム設定のインターフェース



(2) いたずらアラームに関する基本情報を設定します。

- 1) アラームを選択し、アラーム名を設定します。
- 2) アラームタイプを選択します。分解防止アラーム入力がない場合はノーマルオープンタイプかノーマルクローズタイプかによって、**Alarm Type** を **N.O.** または **N.C.** に設定します。
- 3) アラーム入力を有効にするかどうかを選択します。**Alarm Input** が **オン** に設定されている場合、本機はいたずらアラームを受信します。**オフ** に設定されている場合、ターミナルはいたずらアラームを受信しません。

(3) いたずらアラームに関連付けるアクションを設定します。

(4) いたずらアラームは、ターミナルのスナップショットアクションに関連付けることができます。実際のシーンに基づいて、機能を有効にするかどうかを選択します。

作動スケジュールを有効にするかどうかを設定します。

プランを有効にしますチェックボックスをオンにし、アラームの開始時刻と終了時刻を設定します（編集をクリックします）。時間帯は重複できません。本機は、事前設定された有効な時間帯のみアラーム信号を出力します。

日付のオプションには月曜日から日曜日が含まれ、各日付の時刻は4つの時間帯を使用して定義されます。

1日の予定時刻を設定した後、コピーをクリックしてからコピー先の曜日からクリックして、予定時刻を他の日にコピーできます。



マウスを使用して作動時間を記入

作動時刻を設定するためのテーブルの編集

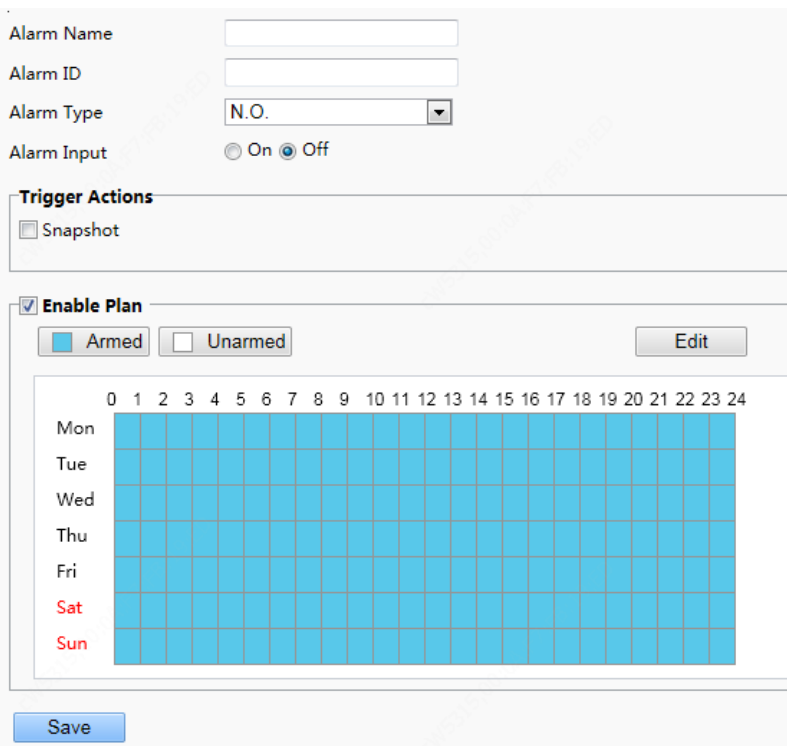
(5) **保存**をクリックします。

3. ドアマグネットアラーム

本機がドアマグネットに接続すると、ドアマグネットアラームを受信できます。

(1) **セットアップ> イベント> イベント**を選択し、**ドアマグネットアラーム**をクリックします。

図 7-50 ドアマグネットアラーム設定のインターフェース



(2) ドアマグネットアラームに関する基本情報を設定します。

a. アラームを選択し、アラーム名を設定します。

- b. アラームタイプを選択します。接続されているアラーム入力デバイスがノーマルオープンタイプかノーマルクローズタイプかによって、**Alarm Type** を **N.O.** または **N.C.** に設定します。たとえば、ノーマルオープンのアラーム入力デバイスの場合、本機が接続されたデバイスからのアラームを正常に受信できるように、**Alarm Type** を **N.O.** に設定する必要があります。
- c. アラーム入力を有効にするかどうかを選択します。**Alarm Input** が **オン** に設定されている場合、本機はドアマグネットアラームを受信します。**オフ** に設定されている場合、ターミナルはドアマグネットアラームを受信しません。

(3) オフに設定されている場合、本機はドアマグネットアラームを受信しません。

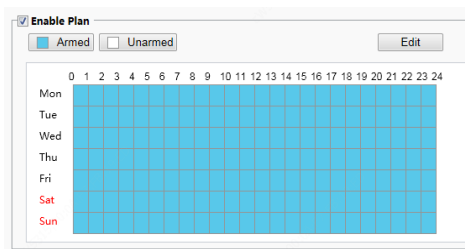
ドアマグネットアラームは、本機のスナップショットアクションに関連付けることができます。実際のシーンに基づいて、機能を有効にするかどうかを選択します。

(4) 作動スケジュールを有効にするかどうかを設定します。

プランを有効にしますチェックボックスをオンにし、アラームの開始時刻と終了時刻を設定します（編集をクリックします）。時間帯は重複できません。デバイスは、事前設定された有効な時間帯のみアラーム信号を出力します。

日付のオプションには月曜日から日曜日が含まれ、各日付の時刻は4つの時間帯を使用して定義されます。

1日の予定時刻を設定した後、コピーをクリックしてからコピー先の曜日ををクリックして、予定時刻を他の日にコピーできます。



マウスを使用して作動時間を記入



作動時刻を設定するためのテーブルの編集

(5) **保存**をクリックします。

4. セキュリティゲートアラーム

本機がドアマグネットに接続すると、セキュリティゲートアラームを受信できます。

(1) **セットアップ**>**イベント**>**イベント**を選択し、セキュリティゲートアラームをクリックします。

(2) セキュリティゲートアラームに関する基本情報を設定します。

- a. アラームを選択し、アラーム名を設定します。

- b. アラームタイプを選択します。接続されているアラーム入力デバイスがノーマルオープンタイプかノーマルクローズタイプかによって、**Alarm Type** を **N.O.** または **N.C.** に設定します。たとえば、ノーマルオープンのアラーム入力デバイスの場合、本機が接続されたデバイスからのアラームを正常に受信できるように、**Alarm Type** を **N.O.** に設定する必要があります。
- c. アラーム入力を有効にするかどうかを選択します。**Alarm Input** が **オン** に設定されている場合、本機はドアマグネットアラームを受信します。**オフ** に設定されている場合、ターミナルはドアマグネットアラームを受信しません。

(3) **保存** をクリックします。

7.3.6 ストレージ

1. ストレージ

セットアップ > **ストレージ** > **ストレージ** をクリックします。



ヒント！

- ストレージインターフェイスのデフォルト値を保持します。変更は禁止されています。

ストレージ

ストレージメディア メモ리카드 データ消去 有効にします

ストレージメディアのステータス: 正常

総容量 2709 MB, フリースペース 2407 MB.

容量を割り当てます

ビデオ(MB)	<input type="text" value="0"/>	(残り容量は画像保存に使用されます。)
一般的なスナップショット...	<input type="text" value="0"/>	(残りの容量はスマートスナップショットストレージに使用されます。)
スマートスナップショット...	<input type="text" value="2408"/>	

ビデオストレージ情報

ストレージポリシー 手動保管 オフ

ストリーム メインストリーム

ストレージがいっぱいの... 上書き ストップ

ポストレコード 60

保存

2. FTP

FTP を使用して、設定したルールに従って画像を FTP サーバーにアップロードします。

2A. 一般的

この構成はサポートされていません。

2B. スマート

- (1) **セットアップ** > **ストレージ** > **FTP** を選択し、**スマート** をクリックします。
- (2) 下の表を参考にしながら、パラメータを設定します
 - サーバーパラメータ

パラメータ	説明と設定
サーバーIP	画像を受信するFTPサーバーのアドレスです。
ポート番号	デフォルト値は21です。必要に応じて値を変更します。
ユーザー名	FTPサーバーに接続するために使用されるユーザー名です。
パスワード	FTPサーバーに接続するために使用されるパスワードです。
Direction ID	デフォルト設定を使用します。
写真をアップロードしません	選択する必要はありません
カスタム命名規則	このオプションが選択されていると、ファイル名のカスタムフィールドが許可されません。
パスをUTF8形式に変換	選択する必要はありません。

- スナップショット画像

- ルートディレクトリに保存

- ディレクトリレベルは4つまで許可されています。
 - ディレクトリのレベルごとに以下の命名要素を設定できます。

パラメータ	説明と設定
IPアドレス	顔認証デバイスのIPアドレスを使用し、フォルダに名前をつけます。
日付	短い日付（yyyyMMdd）を使用し、フォルダに名前をつけます。
Device ID	顔認証デバイスのIDを使用し、フォルダに名前をつけます。
日付+時間	長い日付（yyyyMMddhh）を使用し、フォルダに名前をつけます。
日付-YYYY	年（yyyy）を使用し、フォルダに名前をつけます。
日付-MM	月（MM）を使用し、フォルダに名前を付けます。
日付-DD	日（dd）を使用し、フォルダに名前を付けます。
時間-時分	時分（hhmm）を使用し、フォルダに名前をつけます。
時間-時	時（hh）を使用し、フォルダに名前をつけます。
時間-分	分（mm）を使用し、フォルダに名前をつけます。
カスタム	フィールドをカスタマイズします。カスタムを選択し、希望の内容を入力します。

- ファイル名設定

- 分割機能：命名要素を結合するのに使用します。
 - 命名要素については、次の表に説明します。

パラメータ	説明と設定
IPアドレス	顔認証デバイスのIPアドレスを表示します。
時間	年、月、日、時、分、秒を含めた時間を表示します。
日付	日付（yyyyMMdd）を表示します。
Device ID	顔認証デバイスのIDを表示します。
Direction ID	設定はサポートされていません。

パラメータ	説明と設定
写真番号	画像のシーケンス番号を自動インクリメントします。
日付+時間	年、月、日、時 (yyyyMMddhh) を表示します。
日付-YYYY	年 (yyyy) を表示します。
日付-MM	月 (mm) を表示します。
日付-DD	日 (dd) を表示します。
時間-時分	時分 (hhmm) を表示します。
時間-時	時 (hh) を表示します。
時間-分	分 (mm) を表示します。
時間 秒	秒 (ss) を表示します。
フレームID	設定はサポートされていません。
4桁のランダム番号	ランダムに生成される4桁の番号です。
写真の合計	設定はサポートされていません。
カスタム	フィールドをカスタマイズします。カスタムを選択し、希望の内容を入力します。 Custom Naming Rules を選択し、パラメータを設定します。

7.3.7 セキュリティ

1. ユーザー

ユーザー設定については、[ユーザー](#)を参照してください。

2. ネットワークセキュリティ

セキュリティ情報の送信を設定したら、情報セキュリティチャネルを確立して、データ送信のセキュリティを確保できます。

2A. HTTPS

(1) **セットアップ>セキュリティ>ネットワークセキュリティ>HTTPS** とクリックします。

図 7-51 HTTPS 設定インターフェース

(2) **HTTPS** で**オン**を選択します。必要に応じてカスタム SSL 証明書をインポートすることができます。

(3) **保存**をクリックします。

次にログインするときは、https://IP:HTTPS ポート番号の形式でアドレスを入力します。たとえば、https://192.168.1.13:443 を使用して、セキュアチャネルモードに入ります。デフォルト HTTPS ポートを使用する場合は、https://IP.

2B. RTSP 認証

RTSP (リアルタイムストリーミングプロトコル) はアプリケーションレイヤープロトコルです。音声とビデオを送信して制御するには、ウェブインターフェースで RTSP 認証を設定します。

- (1) **セットアップ>セキュリティ>ネットワークセキュリティ>RTSP 認証**をクリックします。
- (2) 認証モードを選択します。

表 7-21 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
RTSP認証	オプションは、 Basic 、 Digest 、およびなしです。 デフォルト値は Digest です。
HTTP認証	オプションには、 Digest と なし があります。 デフォルト値はなしです。

図 7-52 RTSP 認証設定インターフェース

- (3) **保存**をクリックします。

2C. ARP 保護

この機能は、ARP 攻撃からカメラを保護します。ゲートウェイと MAC アドレスを適切に設定しなければ、PC は別のネットワークからカメラにアクセスできません。MAC が間違っていて設定された場合、同じ LAN 上の PC しかアクセスできません。

- (1) **セットアップ>セキュリティ>ネットワークセキュリティ>>ARP 保護** とクリックします。

図 7-53 ARP 保護設定インターフェース

- (2) チェックボックスを選択して ARP バインディング機能を有効にし、ゲートウェイの MAC アドレスを設定します。
- (3) **保存**をクリックします。

2D. IP アドレスフィルタリング

IP アドレスフィルタリングを使用して、指定の IP アドレスからのアクセスを許可または禁止します。**セットアップ>セキュリティ>ネットワークセキュリティ>IP アドレスのフィルタリング** とクリックします。

図 7-54 IP アドレスフィルタリング設定インターフェース

IPアドレスのフィルタリ... オン オフ

フィルタリングモード

番号	IPアドレス	
		+

保存

- (4) オンを選択して IP アドレスフィルタリングを有効にします。
- (5) フィルタリングモードを選択し、IP アドレスを追加します。
- (6) 保存をクリックします。



ヒント！

- フィルタリングモードがホワイトリストに設定されている場合、追加された IP アドレスのみがカメラにアクセスできます。フィルタリングモードがアクセスを拒否しますに設定されている場合、追加された IP アドレスのみがカメラにアクセスできなくなります。
- IP アドレスは 32 個まで追加できます。各 IP アドレスは 1 回しか追加できません。
- 各 IP アドレスの最初のバイトは 1~223 でなければならず、第 4 バイトは 0 にできません。たとえば、次の IP アドレスは不正ですので追加できません：0.0.0.0, 127.0.0.1, 255.255.255.255, 224.0.0.1.

2E. アクセスポリシー

- (1) セットアップ > セキュリティ > ネットワークセキュリティ > Access Policy をクリックします。
- (2) オンを選択し、わかりやすいパスワードを有効にします。
 - わかりやすいパスワード: わかりやすいパスワードが有効な場合、脆弱なパスワードでのログインが許可されます。わかりやすいパスワードが無効な場合、脆弱なパスワードでのログインが許可されず、ログインが許可されるには強固なパスワードを設定する必要があります。
 - MAC 認証: この設定はサポートされていません。

図 7-55 アクセスポリシー設定インターフェース

わかりやすいパスワード オン オフ

MAC認証 オン オフ

保存

- (3) 保存をクリックします。



ヒント！

わかりやすいパスワードを有効にしても使用法は変わりません。これをオフにして弱いパスワードでログインすると、ページがポップアップ表示され、パスワードを変更するよう指示されます。このページにはキャンセルや閉じるのボタンはありません。デフォルトパスワードは弱いパスワードと見なされます。

3. 登録情報

この構成はサポートされていません。

4. デジタルウォーターマーク

この構成はサポートされていません。

7.3.8 システム

1. 時間

時刻の設定については、[時間](#)を参照してください。

2. サーバー

サーバーの設定については、[サーバー](#)を参照してください。

3. ポートとデバイス

ポートとデバイスの設定については、[ポートとデバイス](#)を参照してください。

4. メンテナンス

4A. ソフトウェアの更新

(1) **セットアップ>システム>メンテナンス** とクリックします。

図 7-56 ローカルアップグレードインターフェイス



(2) **ソフトウェアの更新**で**ブラウズ**をクリックし、適切なアップグレードファイルを選択します。

(3) **アップグレードする**をクリックし、アップグレードの開始を確認します。アップグレードが完了すると、本機は自動的に再起動します。



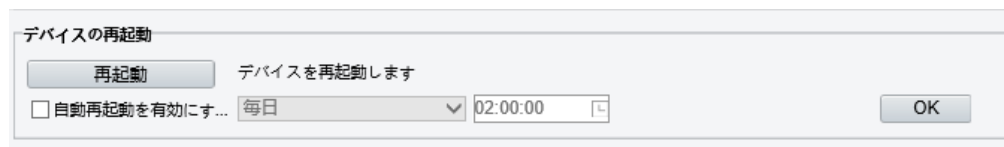
ヒント！

- 必ず、本機に適したアップグレードファイルを使用してください。
- アップグレードファイルは ZIP ファイルで、必要なファイルがすべて含まれています。
- アップグレード中は、確実に電源を接続しておいてください。アップグレードが完了すると、本機は自動的に再起動します。

4B. デバイス再起動

(1) **セットアップ>システム>メンテナンス** とクリックします。

図 7-57 デバイスの再起動



(2) **デバイスの再起動**で**リスタート**をクリックします。操作を確定すると、デバイスが再起動します。

(3) **自動再起動を有効にする**を選択して、再起動の時点を設定できます。その後、デバイスはその時点で自動的に再起動します。



ヒント！

本機を再起動すると現在実行中のサービスが中断するので、この操作は十分注意して実行してください。

本機の自動再起動時点は、サービスを継続せずにアイドル時間に設定することをお勧めします。

4C. 設定管理

- 工場出荷時のデフォルトに戻す

デフォルトをクリックすると、管理者ログインパスワード、ネットワークポートパラメータ、システム時間、管理者パスワード、アクティベーションパスワードを除くすべてのパラメータが工場出荷時のデフォルトに復元されます。



ヒント！

工場出荷時のデフォルトに戻すと、アクティベーションパスワードを変更するように求めるプロンプトが表示画面上に表示されます。

- 工場出荷時のデフォルトに完全に戻す
- 現在のネットワークとユーザー設定を維持せずに、すべての設定をデフォルトに戻しますを選択すると、すべてのパラメーターが工場出荷時のデフォルトに戻ります。
- システム設定ファイルのインポートとエクスポート

カメラの現在の設定をエクスポートして、PCまたは外部ストレージメディアに保存します。PCまたは外部ストレージメディアに保存したバックアップ設定を本機にインポートすると、速やかに設定を復元することができます。



ヒント！

- デフォルト操作を実行すると、システム管理者のログインパスワード、ネットワーク設定、システム時刻を除く設定が、すべて工場出荷時のデフォルト設定に復帰します。
- 本機に適した設定ファイルをインポートしてください。
- 設定ファイルのインポートが成功すると、本機は再起動します。

(1) セットアップ>システム>メンテナンス とクリックします。

図 7-58 読出し/書き出しインターフェース

設定管理

現在のネットワークとユーザー設定を維持せずに、すべての設定をデフォルトに戻します。

読み込み中

書き出し中

時間テンプレートとチェックテンプレートを収集する

- バックアップした設定を読み出すには、読み込み中ボタンの横のブラウズボタンをクリックし、読出したい設定を選択し、読み込みをクリックします。結果が表示されます。
- 現在のシステム設定を書き出すには、書き出しをクリックします。
- デフォルト設定を復元するには、デフォルトをクリックし、操作を確定します。デバイスが再起動し、デフォルト設定に復帰します。チェックボックスを選択してデフォルトをクリックすると、デバイスは工場設定に完全に復帰します。

4D. 診断情報の収集

診断情報には、ログやシステム設定が含まれます。PCに診断情報をエクスポートすることができます。

(1) セットアップ>システム>メンテナンス とクリックします。

図 7-59 診断情報収集インターフェース

(2) **書き出し** をクリックします。



ヒント！

- 圧縮ファイルの形で、ローカルフォルダに診断情報がエクスポートされます。WinRAR などのツールでファイルを解凍し、テキストエディタでファイルを開く必要があります。
- **画像デバッグ情報を収集する**を選択すると、デバッグ情報のあるビデオが表示されるので、故障診断が容易になります。

4E. 言語

実際の状況に応じて、システム言語を選択することができます。

(1) **設定>システム>メンテナンス** とクリックします。

(2) 必要に応じてシステム言語を選択します。

図 7-60 言語インターフェイス



ヒント！

システム言語が変更されると、本機は自動的に再起動します。

4F. 温度モジュールのメンテナンス

温度モジュールのファームウェアのメンテナンスで、温度測定モジュールを修復できます。

(1) **セットアップ>システム>メンテナンス** とクリックします。

(2) **温度モジュールのファームウェアのメンテナンス**で修復を希望する、額の温度モジュールまたは手首の温度モジュールのボタンをクリックします。

(3) 表示されるダイアログで、**OK** をクリックしてメンテナンスを完了します。

図 7-61 温度モジュールメンテナンスインターフェース

8 よくある質問

(1) 初めて Windows 7 PC でログインしたときに、ActiveX をインストールするよう指示するメッセージが表示されないのですが、どうしたらよいですか

回答：次の手順で UAC をオフにし、再度ログインしてください。

- a. **開始**ボタンをクリックし、**コントロールパネル**をクリックします。
- b. 検索ボックスに uac と入力し、**ユーザーアカウント設定変更**をクリックします。
- c. スライダーを**非通知**の位置に動かし、**OK** をクリックします。
- d. UAC がオフになったら、再度ログインします。

(2) ActiveX のインストールに失敗しましたが、どうしたらよいですか

回答：インストールが失敗したら、次のように、信頼できるサイトとしてカメラの IP アドレスを追加します。IE で**インターネットオプション**を開き、**セキュリティタブ**をクリックし、**信頼できるサイト**をクリックし、**サイト**をクリックしてウェブサイトを追加します。

Windows 7 を使用する場合、まず PC に **setup.exe** を保存し、ファイルを右クリックし、**管理者として実行**を選択し、指示に従ってインストールします。

(3) 初めてログインしたときにライブビデオが表示できませんでしたが、どうしたらよいですか

回答：PC のファイヤーウォールを閉じ、ウェブインターフェースに再度ログインしてください。



株式会社ティービーアイ
〒104-0031
東京都中央区京橋 2-2
京橋エドグラン 28F

■修理・操作説明連絡先

受付時間 9:00~12:00/13:00~17:00
(土日、祝日/年末年始を除く)
フリーダイヤル：0120-065-011
ホームページアドレス
<http://www.tbeye.com>